

松本市文化芸術推進基本計画 中間評価書

令和8年3月

松本市

【目次】

1 経過	3
2 評価の方法.....	3
(1) 市民アンケート調査	3
(2) さまざまな分野との連携による地域の課題解決に係る調査.....	3
(3) 施策の方向性に対する評価.....	3
3 中間評価.....	4
(1) 目標別評価	4
(2) 全体評価.....	10
4 市民アンケート調査の結果.....	11

1 経過

松本市では、松本市文化芸術振興条例（平成15年条例第41号）及び松本市総合計画（基本構想2030・第11次基本計画）に基づき、文化芸術分野の個別計画として、令和3年に松本市文化芸術推進基本計画（計画期間：令和3年度から令和12年度までの10年間。以下「計画」という。）を策定しました。その後、令和5年に国及び県の文化芸術推進基本計画が改訂されたことを受け、社会情勢の変化や新たな課題への対応を図るため、令和6年度に計画の一部改訂を行いました。

令和7年度は、計画期間10年の中間年に当たることから、これまでの取組みの効果を検証し、今後5年間の施策に生かすため、中間評価を実施しました。

2 評価の方法

本中間評価は、以下の方法により調査し、松本市文化芸術振興審議会（令和8年2月9日開催）において評価内容について審議を行いました。

(1) 市民アンケート調査

ア 調査対象 市内在住者（市公式LINE登録者）、アーティストバンクまつもと登録者等

イ 調査方法 市公式LINE等SNSからの配信、アーティストバンクまつもと登録者への電子メール送付並びに市内文化施設（25施設）及び35地区地域づくりセンターへのアンケート用紙の配置

ウ 調査期間 令和7年11月17日（月）から11月30日（日）まで

エ 回答数 616件

オ 調査内容（質問項目）

(ア) 令和2年に行った市民アンケートの質問項目のうち、計画中に評価指標として定められた項目については、令和2年と同様の内容で質問を作成

(イ) 令和7年度第1回松本市文化芸術振興審議会で委員から出された意見を踏まえ、評価指標以外の質問を作成

(2) さまざまな分野との連携による地域の課題解決に係る調査

ア 健康、医療、福祉分野等における文化芸術の活用事業数

市病院局への照会及び市内介護保険事業所等のうちサービス内容としてレクリエーションを提供している事業所をホームページ等から抽出

イ 文化芸術団体の交流機会の提供数に係る調査

庁内関係課及び（一財）松本市芸術文化振興財団に対し、令和3年度以降に活動者の交流を目的として実施した事業数を照会

(3) 施策の方向性に対する評価

(1)及び(2)の集計結果から、計画第3章2に定める評価指標について、計画策定時（令和3年）の値と現状値（令和7年）との比較、属性ごとの傾向等から現状を把握し、今後の方向性について整理

3 中間評価

計画では、「文化芸術で人と人がつながり、まちに魅力と活気があふれる三ガク都・松本」を目指す姿として3つの目標を掲げ、5つの基本施策と15の施策の方向性を設定し、各施策の方向性ごとに評価指標を設定しています。

(1) 目標別評価

ア 目標1 市民の誰もが自由に文化芸術に親しむことができる

(ア) 指標の状況

【基本施策】市民の文化芸術に親しむ機会の拡充						
施策の方向性	評価指標	R3 値	R7 値	増減	目標値	評価
①文化芸術に触れる機会の充実	松本市の文化芸術施策に対する満足度 (p.23⑩)	36.7%	39.4%	2.7 ポイント	45.0%	評価指標は39.4%とR3値よりもわずかに増加しました。そのほか、気軽に楽しめる文化芸術鑑賞機会の提供の満足度 (p.20②) も34.2%から41.5%に増加しました。特に大学生及び20代の満足度が60%を超える高水準で、取組みの効果が評価できます。
②多様な情報の発信	文化芸術に関する情報の発信に対する満足度 (p.20①)	33.6%	38.3%	4.7 ポイント	40.0%	評価指標は38.3%とR3値よりも増加し、取組みの効果が評価できます。 その他、情報収集手段に関する問い(p.14Q9)では、年代による違いが顕著でした。 大学生以下：SNS 30代～50代：「広報まつもと」及びSNS 60代以上：「広報まつもと」及び新聞
【基本施策】文化芸術活動者への支援の充実						
①アートと社会をつなぐ相談・支援窓口の設置	文化芸術に関する情報の発信に対する満足度 (p.20①)	33.6%	38.3%	4.7 ポイント	40.0%	評価指標の値については、前述のとおりです。 相談・支援窓口であるアート事業部 (R7 設置) については、自由記述に「存在を知らなかった」との声が複数あり、

						認知度に課題があります。一方で利用したい人の割合は80.0% (p.16Q13) と高く、今後の取組みへの期待が伺えます。
②文化芸術イベントのサポーターの育成	文化ボランティアに参加したいと思う人の割合 (p.15Q12)	81.6%	86.0%	4.4 ポイント	85.0%	評価指標は 86.0%と高く、目標値を上回りました。 一方、参加実績のある人の割合(p.15Q11)は 22.2%と低く大きなギャップがあります。また、参加したい条件として「興味のある内容である」ことや「参加時間帯を選べる」ことを条件とした人の割合が高くなっています。
③表現の場の創出	文化芸術活動の場の提供に対する満足度(p.21④)	25.1%	19.3%	-5.8 ポイント	30.0%	評価指標は 19.3%で、R3 値より減少しました。特に 30代から 40代までの減少幅が顕著です。 一方、活動者における満足度(p.30④)は 34.8%と、活動者側の満足度は比較的高い状況です。
	文化芸術活動の発表機会の提供に対する満足度 (p.21⑤)	22.6%	24.1%	1.5 ポイント	30.0%	評価指標は 24.1%と R3 値よりわずかに増加し、取組みの効果が評価できます。
④顕彰	文化芸術に関する情報の発信に対する満足度 (p.20①)	33.6%	38.3%	4.7 ポイント	40.0%	評価指標の値については、前述のとおりです。 文化芸術表彰制度及び受賞者の認知度についての問い (p.16Q15) では、制度の認知度は 67.7%と高いものの、受賞者の認知度は 12.3%と低水準です。

	アーティストの発掘及び支援に対する満足度 (p.22⑦)	9.8%	16.1%	6.3 ポイント	15.0%	評価指標は 16.0%と増加し、目標値を上回りました。
--	---------------------------------	------	-------	-------------	-------	-----------------------------

(イ) 課題及び今後の方向性

- a 市民の文化芸術に親しむ機会に対する満足度は上昇傾向にありますが、目標値達成のためには、次のような検討が必要です。
- (a) 高校生以下及び 40 代以上の層にも関心を持ってもらえるよう、教育委員会や福祉施設と連携したアウトリーチ事業等による鑑賞機会の提供に係る検討
- (b) 多様化する情報発信手段の最適化のため、各年代に適したコンテンツ及び配信チャンネルを選定し、効果的な情報提供方法を検討
- b 文化芸術活動者への支援についても満足度はおおむね上昇している一方で、活動の場の提供に対する満足度が低下している点については、特に 30 代から 40 代の世代で顕著であり、何らかの要因で活動から離れていることが示唆されます。今後は、この世代を含む文化芸術活動を希望する人々が気軽に相談できる体制の構築が求められます。また、文化ボランティアへの参加意向は各世代で高いものの、実際に活動しているのは学生又は 70 代以上が中心です。学生が卒業後、あるいは働きながらも継続しやすい仕組みの検討が必要です。
- c 上記のような課題を包括的に支援する役割として、アートと社会をつなぐ相談・支援窓口であるアート事業部が中心となり、情報発信に加え、ニーズに合った取組みを進める必要があります。
- d 松本市にはアーティスト的な人材が多数いることを広く共有し、表彰制度を起点に文化芸術活動の波及を目指します。

イ 目標 2 松本独自の文化芸術を継承しながら、新しい松本の文化芸術を創造する

(ア) 指標の状況

【基本施策】「松本らしさ」を代表する文化芸術の更なる発展						
施策の方向性	評価指標	R3 値	R7 値	増減	目標値	評価
①伝統工芸・民藝・クラフト文化の発展	工芸等文化芸術に関連する産業の振興に対する満足度	19.0%	44.0%	25.0 ポイント	25.0%	評価指標は 44.0%と大幅に増加し、全年代で増加したことにより、目標値を上回りました。 自由記述では、小中学校で地域の歴史や文化を伝えるた

	(p.22⑨)					めに、地元工芸家と関われる企画等への支援の要望がありました。
②松本独自事業の更なる展開	市の魅力を向上するために文化芸術活動が必要と答えた割合 (p.13Q6)	95.6%	96.1%	0.5 ポイント	98.0%	評価指標は 96.1%と R3 値よりわずかに増加しました。自由記述で、OMF など大規模なイベントの展開が高く評価されていることから、これらは「松本らしさ」を象徴する事業であり、松本市の魅力向上に欠かせないものと捉えられています。 一方で、地元活動者への支援が不十分であるとの指摘があります。
③新たな事業の展開	市の魅力を向上するために文化芸術活動が必要と答えた割合 (p.13Q6)	95.6%	96.1%	0.5 ポイント	98.0%	評価指標の値については前述のとおりです。その他、文化芸術の観光活用により「新しい文化芸術のイベントや活動が生まれている」と感じている人(p.17Q16)が、8.3%から 34.3%に大幅に増加しています。
【基本施策】文化財・伝統芸能の保存と継承						
①地域の文化財の保存と活用	文化財保護のための取組みに対する満足度 (p.24①)	43.5%	36.0%	-7.5 ポイント	50.0%	評価指標は 36.0%で R3 値より減少しました。自由記述で、「小規模な文化財に対しての配慮が不足している」等の意見がありました。
	文化財等の観光への活用に対する満足度 (p.22⑧)	42.1%	33.9%	-8.2 ポイント	50.0%	評価指標は 33.9%で R3 値に比べて減少しました。 文化芸術全般の観光活用に関する影響についての問い (p.17Q16)では、効果を実感している割合が 82.6%と高水準でした。一方、文化財保護に

						対する満足度は、前述のとおり減少しています。
②地域の伝統・民俗芸能の継承	地域の伝統行事などの後継者育成の促進に対する満足度 (p.24③)	10.5%	17.4%	6.9ポイント	15.0%	評価指標は17.4%でR3値より増加しました。各年代とも微増し、目標値を上回りました。 また、アンケート回答者の半数以上が地域の伝統行事などに実際に参加した経験があり、さらに、「参加したい」と考えている人も含めると参加意向率は84.9%と高水準にあります(p.19Q20)。

(イ) 課題及び今後の方向性

- a OMF等、「松本らしさ」が定着したイベントは、今後も継続的に開催できるよう支援します。
- b 文化財・伝統芸能の保存及び継承については、観光・文化財・教育の三分野が横断的に連携することが必要です。そのため、観光を通じた文化財の活用が市民・観光客の価値理解を深め、保存や継承への意識醸成につながるようにします。また、次世代へ継承していくために、教育委員会等と連携し、日常の中で松本市独自の文化を楽しく学び、体験できる機会を増やし、若年層の満足度向上を図ります。
- c 郊外地域を含めた文化財の保存活用や地域活動者への支援を、市域全体で推進し、松本独自の文化をコモンズとして継承・発展させていくことを目指します。
- b 地域の伝統行事などの後継者育成に当たっては、市民が求める条件を踏まえた参加機会の提供が必要です。特に「時間帯が選べる」「初めてでも歓迎される雰囲気や環境がある」ことが高い選択率を示しているため、こうした要素を重視したプログラム設計が求められています。

ウ 目標3 さまざまな分野との連携により、課題解決や地域の活性化につなげる

(ア) 指標の状況

【基本施策】さまざまな分野との連携による地域の課題解決						
施策の方向性	評価指標	R3 値	R7 値	増減	目標値	評価
①教育分野との連携	子どもの文化芸術に触れる	27.5%	35.0%	7.5ポイント	35.0%	評価指標は35.0%となり、R3 値を上回って目標値を達成しました。特に子育て世帯

	機会の提供に対する満足度 (p.21⑥)					を含む 30 代以上の層が増加しており、取組みの効果が明確に評価されています。
②健康、医療、福祉分野との連携	健康、医療、福祉分野等における文化芸術の活用事業数 (年間)	—	9 事業 ※ R5-R6 の平均事業数。コロナ禍の R3-R4 の実績は除外	—	5 事業	コロナ禍で活動制限のあった R3 から R4 までを除くと、R5 以降の事業数は目標値を上回っています (R5:13 事業、R6:6 事業)。OMF メンバーによる出前コンサート等、外部連携にも進展しています。
③観光分野との連携	文化財等の観光への活用に対する満足度 (p.22⑧)	42.1%	33.9%	-8.2 ポイント	50.0%	評価指標の値については前述のとおりです。 自由記述では、地域の祭りの存在感の薄れや交通面 (駐車場不足・渋滞) の課題への指摘があります。
④関係機関の連携強化	文化芸術団体の交流機会の提供数 (年間)	—	2 事業 ※ R5-R6 の平均事業数。コロナ禍の R3-R4 の実績は除外	—	3 事業	評価指標となる文化芸術団体の交流を目的とした事業実績は、年間平均 2 事業で、目標値に近づく結果となりました。

(イ) 課題及び今後の方向性

- a 子どもの文化芸術に触れる機会への満足度は向上しています。一方、部活動地域移行に係る文化系の活動については、家庭環境や指導者不足などから参加機会が確保しにくい等の不安の声が上がっています。子どもが生涯にわたり文化芸術に親しむ機会を確保していくために、関係機関と連携を一層深めながら進めていきます。
- b 文化芸術全般の観光活用に対する効果を実感している割合は高水準にありますが、文化財等の観光分野との連携に対する満足度は低下しています。郊外の小規模な文化財にも注目した取組みと、交通面の課題解決が必要です。
- c アート事業部に対する期待の声が多数寄せられていることから、様々な分野との連携を強化し、文化芸術団体の交流機会を創出します。これにより団体同士の自発的な取組みを促進し、活動機会の提供に対する満足度の向上を図ります。

(2) 全体評価

調査結果から、令和3年の数値と比較して多くの施策において評価指標が改善し、計画に基づく取組みが一定の成果を上げていることが確認されました。

情報発信に関しては、全体的な満足度が上昇傾向にあり、一定の効果が評価できます。情報発信は全ての目標達成に不可欠であるため、今後はイベント開催情報や募集情報に加え、文化的価値や文化継承につながる情報の発信も強化し、積極的に展開することで満足度の更なる向上を目指します。

一方、文化芸術施策は幅広い分野を抱えることから、地域、ジャンル、世代、経済面等で格差が生じています。格差の平準化に向け、アート事業部（相談・支援窓口）を中心に、活動者や指導者と地域・世代を結びつける包括的な支援体制を構築する必要があります。

文化芸術資源の観光活用については、多くの市民が効果を実感しているものの、文化継承や文化財保護、交通面等の課題が残っています。観光及び教育分野との連携を一層強化し、担い手となる子どもたちが地域の文化を学ぶ機会を創出することが、様々な課題解決や郊外地域の活性化につながる一つになると考えられます。

以上の点を踏まえ、今後は情報発信の充実、格差是正に向けた支援体制の拡充及び観光・教育連携による文化継承の推進を重点的に進めます。

市民アンケート調査の結果

計画の中間評価に当たり、文化芸術に関する現状及び市民ニーズを把握し、今後の施策に生かすため、市民アンケートを実施しました。

【調査概要】

- 調査期間：令和7年11月17日（月）～11月30日（日）
- 調査方法
 - ・WEB回答（市公式LINE等SNSによる配信及び活動者への電子メールの送付）
 - ※市公式LINE登録者数（市内在住者）：約2万人
 - 活動者（アーティストバンクまつもと登録者）：約100団体
 - ・用紙回答（市内35地区地域づくりセンター、公民館及び市内文化施設25施設に用紙を設置）
- 回答数：616件（WEB回答：568件、紙回答：48件）

※今回の評価の比較対象となる前回調査概要は以下のとおりです。

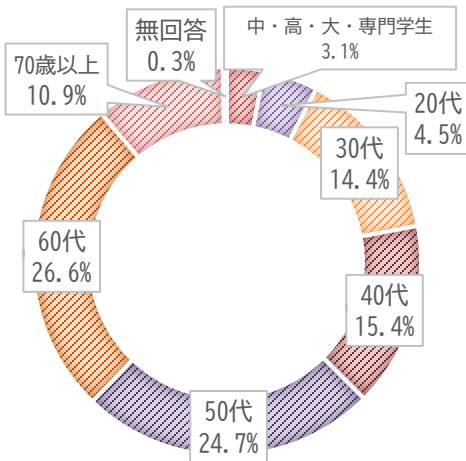
【調査概要】

- 調査期間：令和3年2月12日～2月28日（以下、計画の表記に合わせ「R3」の結果として記載）
- 対象者：18歳以上の市民（無作為抽出）
- 調査方法：郵送による紙回答又はインターネット回答による無記名アンケート
- 配布数及び回収数：配布数2,000通、回答数786通（回収率39.3%）

【調査結果】

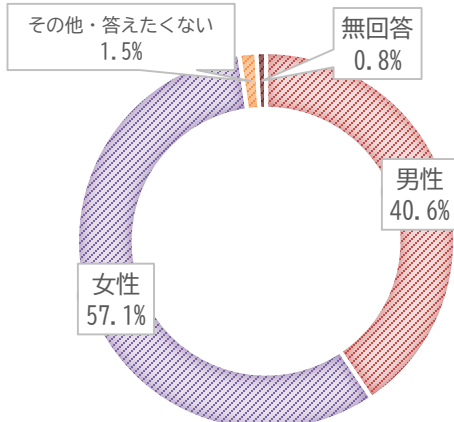
あなたご自身のことについて

Q1 回答者の年齢



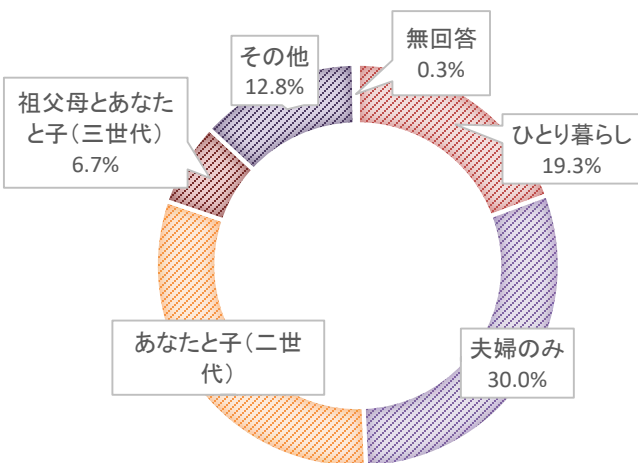
年齢	人数 (人)	比率 (%)	(参考)R3回答者の比率 (%)
中・高・大・専門学生	19	3.1	(10代) 1.8
20代	28	4.5	6.2
30代	89	14.4	14.9
40代	95	15.4	15.3
50代	152	24.7	15.8
60代	164	26.6	20.5
70歳以上	67	10.9	19.7
無回答	2	0.3	5.8
合計	616	100.0	100.0

Q2 回答者の性別



性別	人数 (人)	比率 (%)	(参考)R3回答者の比率 (%)
男性	250	40.6	37.7
女性	352	57.1	55.0
その他・答えたくない	9	1.5	1.3
無回答	5	0.8	6.0
合計	616	100.0	100.0

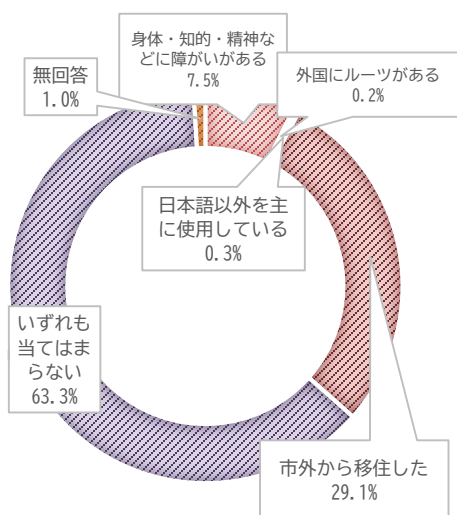
Q3 回答者の世帯構成



世帯構成	人数(人)	比率(%)
ひとり暮らし	119	19.3
夫婦のみ	185	30.0
あなたと子(二世帯)	190	30.8
祖父母とあなたと子(三世帯)	41	6.7
その他	79	12.8
無回答	2	0.3
合計	616	100.0

※R3は未調査

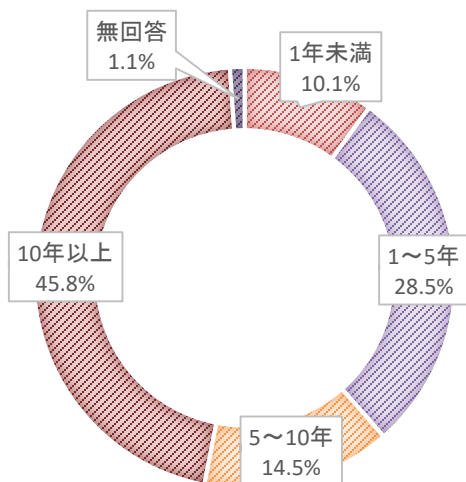
Q4 回答者の多様性



項目	人数(人)	比率(%)
身体・知的・精神などに障がいがある	46	7.5
外国にルーツがある	1	0.2
日本語以外を主に使用している	2	0.3
市外から移住した	179	29.1
いずれも当てはまらない	390	63.3
無回答	6	1.0

※R3は未調査

Q5 回答者のうち市外からの移住者の居住年数



居住年数	人数(人)	比率(%)
1年未満	18	10.1
1～5年	51	28.5
5～10年	26	14.5
10年以上	82	45.8
無回答	2	1.1
合計	179	

※R3は未調査

文化芸術に関することについて

：評価指標に関わる数値・内容
(各項目の選択者数/全体の回答者数(616)*100)

Q6 市の魅力を向上するためにはどのような文化芸術活動が必要か

	中学生以下	高校生	大学生 専門学生	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年代無回答	全体	(%) 評価指標と なる数値
大規模なイベントやフェスティバルの実施	100.0	100.0	40.0	57.1	49.4	49.5	48.7	42.1	31.3	50.0	45.6	96.1
文化芸術活動者への支援	0.0	0.0	33.3	46.4	51.7	54.7	44.7	46.3	52.2	0.0	48.5	
地域の伝統的な芸能や祭りへの参加促進	100.0	50.0	53.3	50.0	47.2	41.1	47.4	49.4	44.8	0.0	46.6	
文化財の保存・活用	50.0	0.0	73.3	50.0	59.6	53.7	55.9	72.6	65.7	0.0	61.7	
上記以外の地域での文化芸術活動	0.0	50.0	20.0	21.4	28.1	28.4	21.7	25.0	29.9	50.0	25.6	
その他	0.0	0.0	6.7	0.0	4.5	9.5	5.9	2.4	6.0	50.0	5.4	
必要ない	0.0	0.0	0.0	3.6	3.4	1.1	1.3	0.0	0.0	0.0	1.1	3.9
わからない	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	2.0	3.0	4.5	0.0	2.3	
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	50.0	0.5	

	市外から移 住した	外国にルー ツがある	身体・知的・ 精神などに障 がいがある	日本語以外を 主に使用して いる	いずれも当て はまらない	無回答	全体
大規模なイベントやフェスティバルの実施	45.3	0.0	8.7	0.0	45.6	33.3	45.8
文化芸術活動者への支援	45.8	100.0	10.9	50.0	48.5	66.7	47.9
地域の伝統的な芸能や祭りへの参加促進	45.3	0.0	4.3	0.0	47.7	50.0	46.9
文化財の保存・活用	60.9	0.0	4.3	0.0	64.1	33.3	61.4
上記以外の地域での文化芸術活動	27.9	100.0	4.3	0.0	24.6	0.0	25.5
その他	7.8	100.0	4.3	0.0	4.1	0.0	5.2
必要ない	0.6	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.1
わからない	1.7	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	16.7	0.5

Q8 「指導する人」の場所

	回答者数	全体比率 (%)
保育園・幼稚園	1	4.2
小学校	8	33.3
中学校	2	8.3
高校	4	16.7
大学	2	8.3
特別支援学校	0	0.0
インターナショナルスクール	0	0.0
サークルなど団体	4	16.7
その他	3	12.5

Q7 どのように文化芸術に関わっているか

	中学生以下	高校生	大学生 専門学生	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年代無回答	全体	(%) 評価の参考 となる数値
鑑賞する人として	100.0	50.0	66.7	75.0	82.0	78.9	84.9	76.8	79.1	50.0	79.7	88.8
参加する人として	50.0	50.0	66.7	39.3	41.6	48.4	29.6	38.4	41.8	50.0	39.4	
活動する人として	50.0	0.0	26.7	14.3	22.5	24.2	16.4	23.2	29.9	0.0	21.9	
教育現場などで指導する人として	0.0	0.0	13.3	3.6	4.5	6.3	2.6	3.0	1.5	0.0	3.7	
その他	0.0	0.0	6.7	3.6	0.0	3.2	4.6	1.2	1.5	0.0	2.4	
関わっていない	0.0	0.0	6.7	7.1	10.1	9.5	10.5	14.6	11.9	0.0	11.2	11.2
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	50.0	0.3	

	市外から移 住した	外国にルー ツがある	身体・知的・ 精神などに障 がいがある	日本語以外を 主に使用して いる	いずれも当て はまらない	無回答	全体
鑑賞する人として	82.1	0.0	13.0	50.0	79.7	66.7	79.7
参加する人として	48.0	100.0	8.7	0.0	36.9	50.0	39.4
活動する人として	19.6	100.0	8.7	50.0	22.3	50.0	21.9
教育現場などで指導する人として	5.6	100.0	0.0	0.0	2.6	16.7	3.7
その他	3.4	100.0	2.2	0.0	1.5	0.0	2.4
関わっていない	7.8	0.0	0.0	0.0	13.1	0.0	11.2
無回答	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.3

(「その他」の内容)

- ・ イベントの企画や運営
- ・ 活動する家族の支援
- ・ イベント等への出展
- ・ 講習会講師等

Q9 どのような媒体から情報を得ているか

	(%)										
	中学生以下	高校生	大学生 専門学生	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年代無回答	全体
広報まつもと	0.0	50.0	13.3	21.4	52.8	56.8	59.2	67.7	64.2	0.0	57.5
ホームページ	50.0	50.0	6.7	21.4	44.9	44.2	38.2	36.6	34.3	0.0	37.7
テレビやラジオ	50.0	50.0	20.0	25.0	28.1	22.1	31.6	43.9	35.8	0.0	32.8
新聞	0.0	0.0	33.3	25.0	20.2	30.5	43.4	61.6	62.7	0.0	43.5
雑誌やフリーペーパー	0.0	0.0	0.0	10.7	27.0	22.1	13.2	14.0	7.5	50.0	15.7
ポスターやチラシ	50.0	100.0	53.3	57.1	50.6	52.6	44.1	37.2	41.8	0.0	45.1
SNS	0.0	100.0	93.3	64.3	70.8	57.9	47.4	43.3	31.3	50.0	51.5
その他	0.0	0.0	6.7	0.0	2.2	6.3	2.6	1.8	7.5	0.0	3.4
情報は得ていない	0.0	0.0	0.0	3.6	2.2	3.2	2.0	1.8	0.0	0.0	1.9

(「その他」の内容)

HP、メルマガ、ピーテックス、Google、Youtube、Tiktok、アプリケーション、口コミ、スレツズ、ネット、企業からのメール、学校からの案内

	(%)						
	市外から移住した	外国にルーツがある	身体・知的・精神などに障がいがある	日本語以外を主に使用している	いずれも当てはまらない	無回答	全体
広報まつもと	56.4	100.0	8.7	0.0	58.2	0.0	57.5
ホームページ	33.5	100.0	6.5	50.0	39.2	16.7	37.7
テレビやラジオ	25.7	0.0	4.3	0.0	36.7	16.7	32.8
新聞	31.8	100.0	6.5	0.0	49.7	50.0	43.5
雑誌やフリーペーパー	15.1	0.0	0.0	0.0	15.9	0.0	15.7
ポスターやチラシ	54.2	0.0	6.5	0.0	42.6	16.7	45.3
SNS	54.7	100.0	4.3	0.0	50.5	66.7	51.5
その他	4.5	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	3.4
情報は得ていない	1.7	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	1.9

Q10 どのSNSから情報を得ているか

	(人)	(%)
	回答者数	全体比率
Instagram	226	71.3
X	163	51.4
LINE	156	49.2
Facebook	74	23.3
その他	10	3.2

Q11 ボランティアやサポーターでイベントなどに参加したことがあるか

	(%)											評価の参考となる数値
	中学生以下	高校生	大学生 専門学生	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年代無回答	全体	
文化施設（芸術館や博物館、図書館など）の運営や管理	0.0	0.0	0.0	7.1	3.4	6.3	4.6	8.5	13.4	0.0	6.7	22.2
音楽や演劇などのイベントスタッフ	0.0	0.0	33.3	3.6	9.0	12.6	10.5	12.2	23.9	0.0	12.7	
観光名所などのガイド	0.0	0.0	13.3	0.0	1.1	2.1	2.0	1.2	6.0	0.0	2.3	
博物館などでの解説ボランティア	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	1.1	1.3	1.8	1.5	0.0	1.3	
その他	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	5.3	3.9	5.5	1.5	0.0	3.6	
活動していない	100.0	100.0	60.0	89.3	85.4	77.9	81.6	74.4	65.7	50.0	77.8	77.8

	(%)						
	市外から移住した	外国にルーツがある	身体・知的・精神などに障がいがある	日本語以外を主に使用している	いずれも当てはまらない	無回答	全体
文化施設（芸術館や博物館、図書館など）の運営や管理	5.0	0.0	2.2	0.0	7.4	0.0	6.7
音楽や演劇などのイベントスタッフ	10.1	0.0	2.2	0.0	14.4	33.3	12.7
観光名所などのガイド	5.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	2.3
博物館などでの解説ボランティア	2.8	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	3.6
その他	1.1	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3
活動していない	79.9	100.0	10.9	50.0	77.2	50.0	77.8

（「その他」の内容）

- ・街としての取組み
- ・やりたいが情報が無い
- ・地域、映像講座での音楽制作

Q12 どのような場合にイベントのサポーターとして参加したいか

	(%)											評価指標となる数値
	中学生以下	高校生	大学生 専門学生	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年代無回答	全体	
興味のある内容である	0.0	100.0	80.0	75.0	64.0	75.8	75.7	64.6	64.2	50.0	69.6	86.0
都合の良い参加時間帯を選べる	0.0	50.0	46.7	35.7	56.2	53.7	57.2	49.4	50.7	50.0	52.3	
自分の知識や経験を生かせる	50.0	0.0	26.7	25.0	33.7	40.0	29.6	40.9	40.3	50.0	35.7	
好きな出演者・出展者が出ている	50.0	50.0	40.0	50.0	27.0	53.7	38.2	36.0	20.9	0.0	37.0	
リハーサル等を見学できる	0.0	0.0	13.3	25.0	23.6	34.7	30.9	27.4	22.4	0.0	27.6	
その他	0.0	0.0	6.7	0.0	1.1	0.0	0.0	1.8	3.0	0.0	1.1	
参加したいとは思わない	50.0	0.0	6.7	10.7	20.2	7.4	11.8	16.5	11.9	0.0	13.5	14.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	50.0	0.5	

	(%)						
	市外から移住した	外国にルーツがある	身体・知的・精神などに障がいがある	日本語以外を主に使用している	いずれも当てはまらない	無回答	全体
興味のある内容である	73.7	0.0	13.0	0.0	68.5	83.3	69.6
都合の良い参加時間帯を選べる	55.3	0.0	10.9	50.0	51.3	50.0	52.3
自分の知識や経験を生かせる	39.7	100.0	8.7	50.0	34.4	50.0	35.7
好きな出演者・出展者が出ている	39.1	0.0	4.3	0.0	37.4	33.3	37.0
リハーサル等を見学できる	22.9	0.0	2.2	0.0	31.3	16.7	27.6
その他	0.6	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.1
参加したいとは思わない	12.8	0.0	0.0	0.0	12.8	0.0	13.5
無回答	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3	16.7	0.5

Q13 アート事業部をどのように利用したいか

	中学生以下	高校生	大学生 専門学生	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年代無回答	全体	評価の参考 となる数値
活動場所やイベントの出演について相談したい	0.0	0.0	13.3	21.4	14.6	11.6	11.8	8.5	6.0	0.0	10.4	80.0
文化芸術関係の取組みについて相談したい	50.0	0.0	26.7	17.9	12.4	16.8	9.9	10.4	10.4	0.0	12.3	
イベント情報を得るために利用したい	0.0	0.0	33.3	39.3	36.0	45.3	55.3	39.6	53.7	50.0	45.0	
部活動など子どもの文化芸術活動について相談したい	50.0	0.0	13.3	10.7	12.4	25.3	10.5	3.7	4.5	0.0	10.7	
文化芸術イベントに行ってみたい	0.0	50.0	33.3	35.7	42.7	41.1	56.6	53.0	58.2	50.0	49.7	
その他	50.0	0.0	6.7	0.0	2.2	3.2	0.7	0.6	0.0	0.0	1.5	
利用したいと思わない	0.0	50.0	6.7	28.6	28.1	16.8	11.2	18.9	14.9	0.0	17.7	20.0
無回答	0.0	0.0	0.0	3.6	1.1	0.0	2.0	2.4	6.0	50.0	2.3	

	市外から移住した	外国にルーツがある	身体・知的・精神などに障がいがある	日本語以外を主に使用している	いずれも当てはまらない	無回答	全体
活動場所やイベントの出演について相談したい	10.1	0.0	2.2	50.0	10.5	50.0	11.0
文化芸術関係の取組みについて相談したい	14.0	0.0	6.5	50.0	11.3	50.0	12.3
イベント情報を得るために利用したい	46.9	0.0	2.2	0.0	45.4	16.7	45.0
部活動など子どもの文化芸術活動について相談したい	12.8	0.0	0.0	0.0	9.5	16.7	10.7
文化芸術イベントに行ってみたい	50.3	0.0	8.7	0.0	50.3	16.7	49.7
その他	1.1	100.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5
利用したいと思わない	19.0	0.0	4.3	0.0	16.2	16.7	17.7
無回答	3.4	0.0	0.0	0.0	1.5	16.7	2.3

Q14 アート事業に望む機能や取組みなど（自由記述） ※P35

Q15 文化芸術表彰・受賞者について知っているか

	中学生以下	高校生	大学生 専門学生	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年代無回答	全体	評価の参考 となる数値
制度の内容も受賞者もよく知っている	0.0	0.0	0.0	7.1	13.5	6.3	15.8	15.2	10.4	0.0	12.3	67.7
制度があることは知っているが、受賞者はよく知らない	0.0	50.0	26.7	7.1	29.2	31.6	28.9	32.9	52.2	0.0	31.8	
制度の名前は聞いたことがある	0.0	0.0	0.0	35.7	21.3	28.4	25.0	24.4	14.9	50.0	23.5	
全く知らない	100.0	50.0	73.3	46.4	34.8	33.7	29.6	26.8	22.4	50.0	31.8	32.3
無回答	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.7	0.6	0.0	0.0	0.5	

	市外から移住した	外国にルーツがある	身体・知的・精神などに障がいがある	日本語以外を主に使用している	いずれも当てはまらない	無回答	全体
制度の内容も受賞者もよく知っている	7.3	0.0	2.2	0.0	14.6	33.3	12.3
制度があることは知っているが、受賞者はよく知らない	0.3	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	0.3
制度の名前は聞いたことがある	0.3	0.0	0.1	0.0	0.2	0.2	0.2
全く知らない	0.4	1.0	0.0	0.5	0.3	0.5	0.3
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q16 文化芸術の観光活用はどのような影響があると感じているか

	中学生以下	高校生	大学生 専門学生	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年代無回答	全体	(%) 評価の参考と なる数値
地域経済が活性化している	0.0	0.0	33.3	46.4	41.6	42.1	42.8	37.8	37.3	0.0	40.1	82.6
観光客が増えた	100.0	100.0	33.3	28.6	43.8	36.8	39.5	39.6	35.8	0.0	39.0	
松本市の魅力が向上している	50.0	50.0	73.3	53.6	66.3	63.2	66.4	63.4	58.2	0.0	63.5	
市民が松本に誇りを持てるようになった	0.0	50.0	20.0	25.0	39.3	24.2	35.5	42.7	29.9	50.0	34.7	
新しい文化芸術のイベントや活動が生まれている	50.0	50.0	40.0	25.0	34.8	38.9	34.9	32.3	32.8	0.0	34.3	
地域の文化財への関心が高まっている	0.0	0.0	46.7	28.6	28.1	26.3	30.3	29.9	25.4	50.0	28.9	
人々の交流が生まれている	0.0	50.0	26.7	17.9	36.0	32.6	28.9	29.9	41.8	0.0	31.5	
特に効果は感じない	0.0	0.0	0.0	3.6	11.2	11.6	7.2	8.5	6.0	0.0	8.3	17.4
地域の活性化や魅力向上などに対して逆効果となっている	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.1	0.0	1.8	0.0	0.0	1.1	
その他	0.0	0.0	6.7	0.0	2.2	1.1	0.7	0.6	0.0	50.0	1.1	
わからない	0.0	0.0	6.7	0.0	5.6	5.3	8.6	6.7	7.5	0.0	6.5	
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.5	0.0	0.3	

	市外から移 住した	外国にルー ツがある	身体・知的・ 精神などに障 がいがある	日本語以外を 主に使用して いる	いずれも当て はまらない	無回答	全体
地域経済が活性化している	40.8	0.0	6.5	50.0	40.8	66.7	40.1
観光客が増えた	41.9	0.0	8.7	50.0	38.2	33.3	39.0
松本市の魅力が向上している	64.2	0.0	13.0	0.0	64.9	66.7	63.5
市民が松本に誇りを持てるようになった	36.3	0.0	2.2	0.0	35.4	50.0	34.7
新しい文化芸術のイベントや活動が生まれている	32.4	0.0	4.3	50.0	35.9	33.3	34.3
地域の文化財への関心が高まっている	26.3	0.0	2.2	0.0	29.5	33.3	28.9
人々の交流が生まれている	30.7	0.0	4.3	0.0	32.6	33.3	31.5
特に効果は感じない	7.3	100.0	2.2	0.0	9.0	0.0	8.3
地域の活性化や魅力向上などに対して逆効果となっている	0.6	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.1
その他	1.7	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	1.1
わからない	7.3	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	6.5
無回答	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3

(「その他」の内容)

・地元の魅力を再確認するというきっかけになっている。反面、外国人観光客が増えたことによって地元民や日本人観光客の客足が遠のき、せっかく市民が芸術に親しむ機会があるのに結果的にその機会を奪われているのでは、と感じることもある。「市民」の誰もが…という前提を拡大解釈しすぎないようにしてほしい。

- ・大きな芸能活動は広くPRになるが、地域のお祭りに対しては、規模感などで存在感が薄くなり、逆効果かもしれない。
- ・交通渋滞等の問題は深刻化している。
- ・外国人観光客の増加に伴い、案内がなく駅前で迷っている観光客が増えている。
- ・基本的に文化と観光は別のもので考えてほしい。経済効果や観光誘致などはあくまでも結果として目的にしないでほしい。
- ・観光資源として利用するには質・量ともに非常に乏しいと感じる。もっと日常の中に芸術があつたり、気軽に学べる機会が欲しい。

Q17 文化芸術に関する市の取組みへの満足度 (P20～)

伝統行事や文化財に関することについて

Q18 どのように伝統行事や文化財に関わっているか

	中学生以下	高校生	大学生 専門学生	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年代無回答	全体	(%) 評価の参考となる数値
鑑賞する人として	100.0	50.0	66.7	67.9	69.7	71.6	69.7	36.4	67.2	100.0	66.7	78.1
参加する人として	50.0	100.0	33.3	25.0	31.5	36.8	23.0	15.5	31.3	0.0	28.4	
保存活用する人として	0.0	0.0	20.0	7.1	7.9	10.5	13.2	11.7	11.9	0.0	13.0	
指導する人として	0.0	0.0	13.3	3.6	4.5	4.2	2.0	2.3	4.5	0.0	3.7	
その他	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.8	1.5	0.0	0.8	
関わっていない	0.0	0.0	6.7	21.4	19.1	16.8	21.1	15.9	22.4	0.0	20.9	21.9
無回答	0.0	0.0	0.0	7.1	1.1	0.0	0.0	0.8	1.5	0.0	1.0	

	市外から移住した	外国にルーツがある	身体・知的・精神などに障がいがある	日本語以外を主に使用している	いずれも当てはまらない	無回答	全体
鑑賞する人として	82.1	0.0	13.0	50.0	79.7	66.7	79.7
参加する人として	48.0	100.0	8.7	0.0	36.9	50.0	39.4
保存活用する人として	16.8	0.0	4.3	0.0	12.1	0.0	13.1
指導する人として	5.6	100.0	0.0	0.0	2.6	16.7	3.7
その他	1.7	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	1.1
関わっていない	7.8	0.0	0.0	0.0	13.1	0.0	11.2
無回答	0.6	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3

Q19 (Q18で「指導する人として」と回答した場合) どのような場所で指導しているか

	(人) 回答者数	(%) 全体比率
保育園・幼稚園	2	8.7
小学校	9	39.1
中学校	1	4.3
高校	4	17.4
大学	4	17.4
特別支援学校	0	0.0
インターナショナルスクール	0	0.0
サークルなど団体	1	4.3
その他	6	26.1

Q20 伝統行事やお祭りに参加したことがあるか、又は参加したいか

											(%)	
	中学生以下	高校生	大学生 専門学生	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年代無回答	全体	評価の参考 となる数値
お住いの地域の行事に参加したことがある	100.0	100.0	60.0	60.7	47.2	65.3	59.9	54.9	53.7	0.0	57.0	84.9
お住いの地域以外の行事に参加したことがある	0.0	0.0	53.3	35.7	27.0	23.2	24.3	20.7	28.4	0.0	25.0	
体験してみたい	50.0	0.0	20.0	17.9	7.9	7.4	15.1	12.8	9.0	0.0	11.9	
積極的に参加したい	0.0	0.0	13.3	3.6	5.6	3.2	3.3	4.9	3.0	0.0	4.2	
条件が合えば参加したい	0.0	0.0	26.7	28.6	37.1	28.4	31.6	32.9	31.3	0.0	31.7	
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
参加したいと思わない	0.0	0.0	6.7	3.6	11.2	14.7	12.5	18.3	13.4	100.0	14.0	15.1
無回答	0.0	0.0	0.0	3.6	2.2	0.0	0.0	1.2	3.0	0.0	1.1	

							(%)
	市外から移 住した	外国にルー ツがある	身体・知的・ 精神などに障 がいがある	日本語以外 を主に使用 している	いずれも当 てはまらな い	無回答	全体
お住いの地域の行事に参加したことがある	49.7	100.0	8.7	0.0	60.3	33.3	57.0
お住いの地域以外の行事に参加したことがある	29.6	0.0	6.5	0.0	23.8	16.7	25.0
体験してみたい	16.8	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0	11.9
積極的に参加したい	3.4	0.0	0.0	50.0	3.8	0.0	4.2
条件が合えば参加したい	35.8	0.0	4.3	0.0	31.0	16.7	31.7
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
参加したいと思わない	10.6	0.0	0.0	0.0	14.9	16.7	14.0
無回答	0.6	0.0	0.0	0.0	1.0	33.3	1.1

Q21 どのような条件が整えば参加したいか

	(人)	(%)
	回答者数	全体
参加する時間帯が選べる	121	62.1
行事当日のみの参加でよい（練習がいらぬい）	68	34.9
練習や体験の機会がある	57	29.2
無料で参加できる	89	45.6
子どもが参加できる	38	19.5
年齢や性別、体力などが適正である	86	44.1
はじめてでも歓迎する雰囲気や環境がある	129	66.2
その他	9	4.6
無回答	0	0.0

（「その他」の内容）

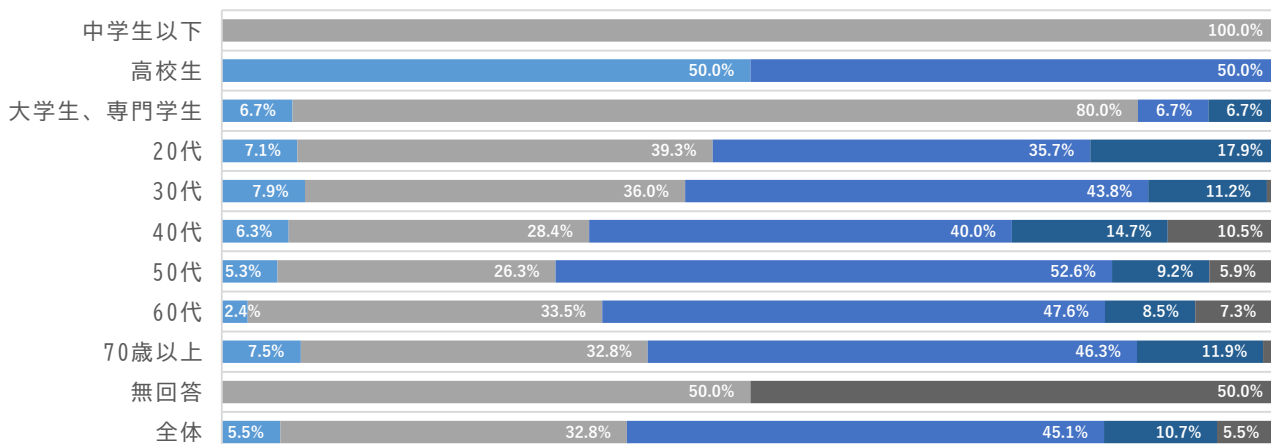
求められることと提供できるものが一致する。日程が合う。公共交通機関で行ける。車椅子で参加可能である。自分の活動にとってプラスになる。

Q22 文化財等に関する市の取組みへの満足度（P24～）

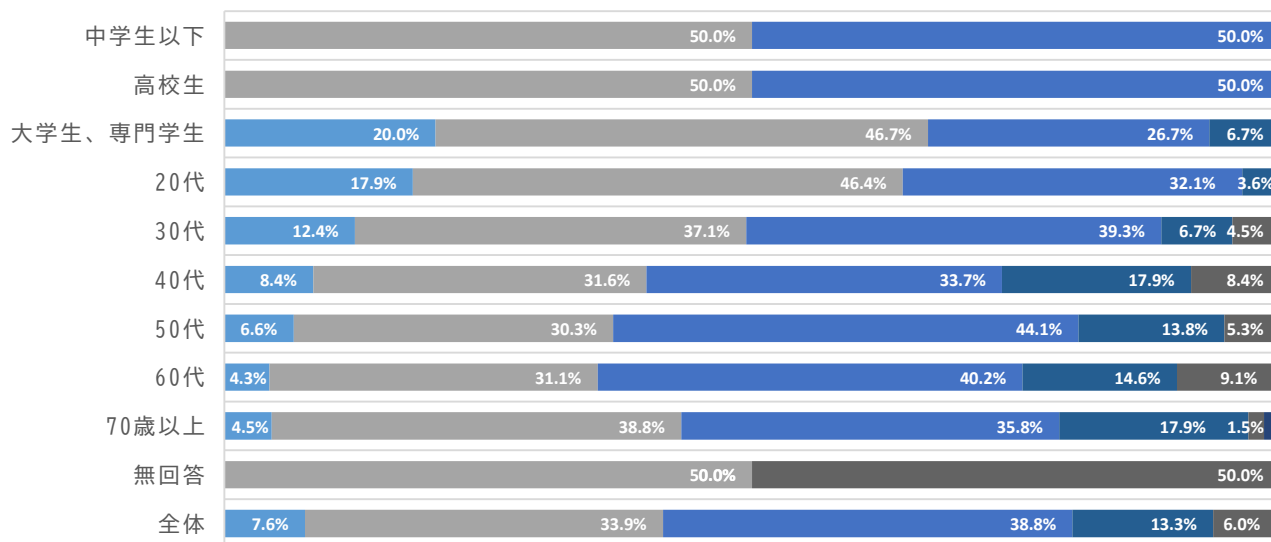
Q17 文化芸術に関する市の取組みへの満足度（年代別）

■満足している ■やや満足している ■どちらとも言えない ■やや不満がある ■全く満足していない ■無回答

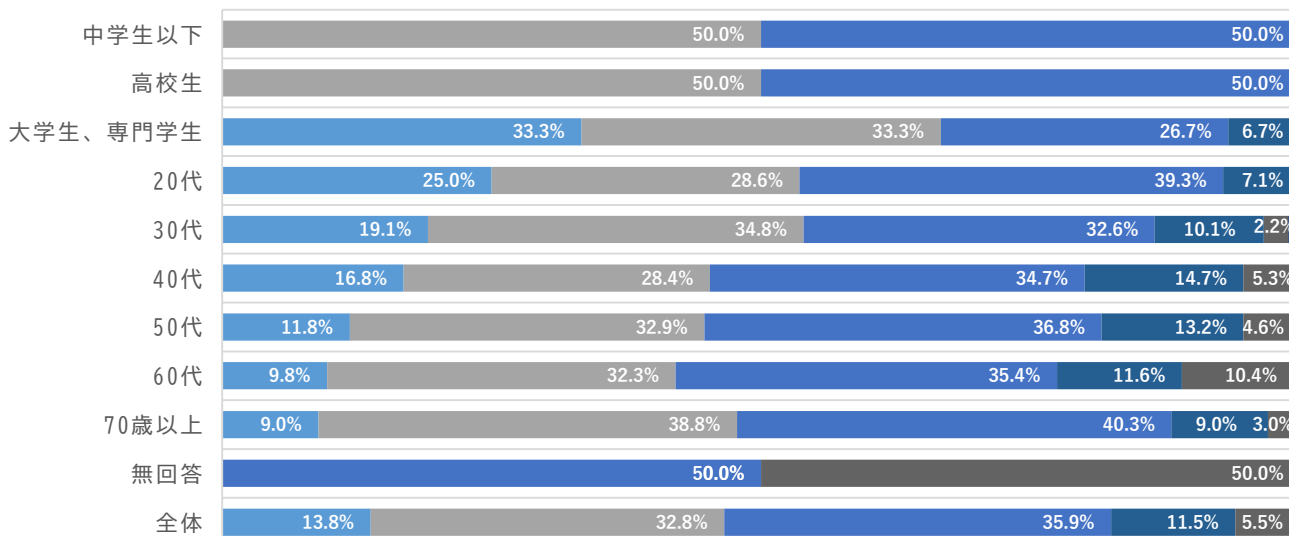
①文化芸術に関する情報発信



②気軽に楽しめる文化芸術鑑賞機会の提供

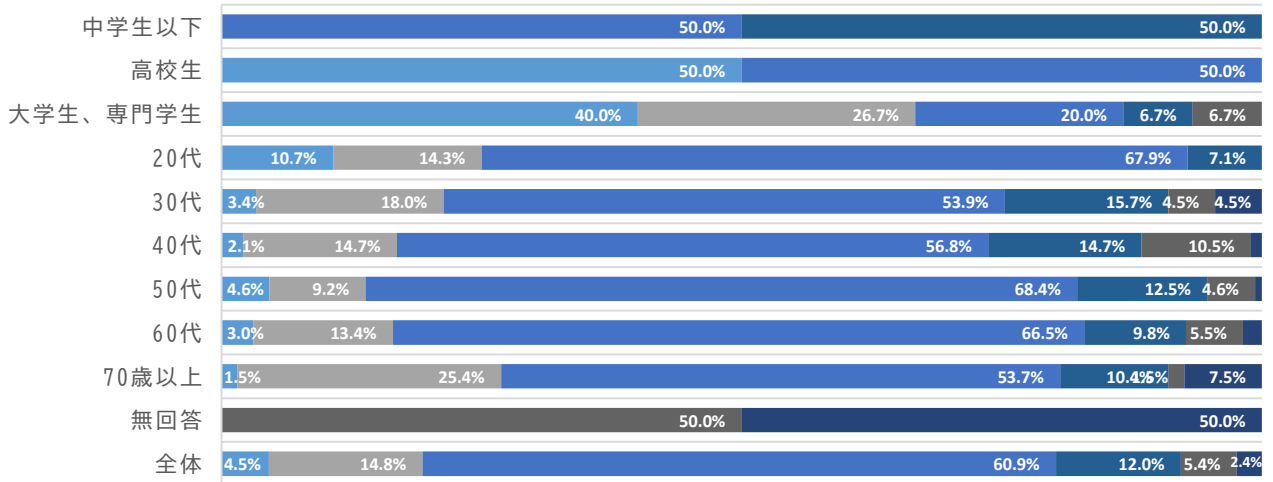


③質の高い文化芸術鑑賞機会の提供

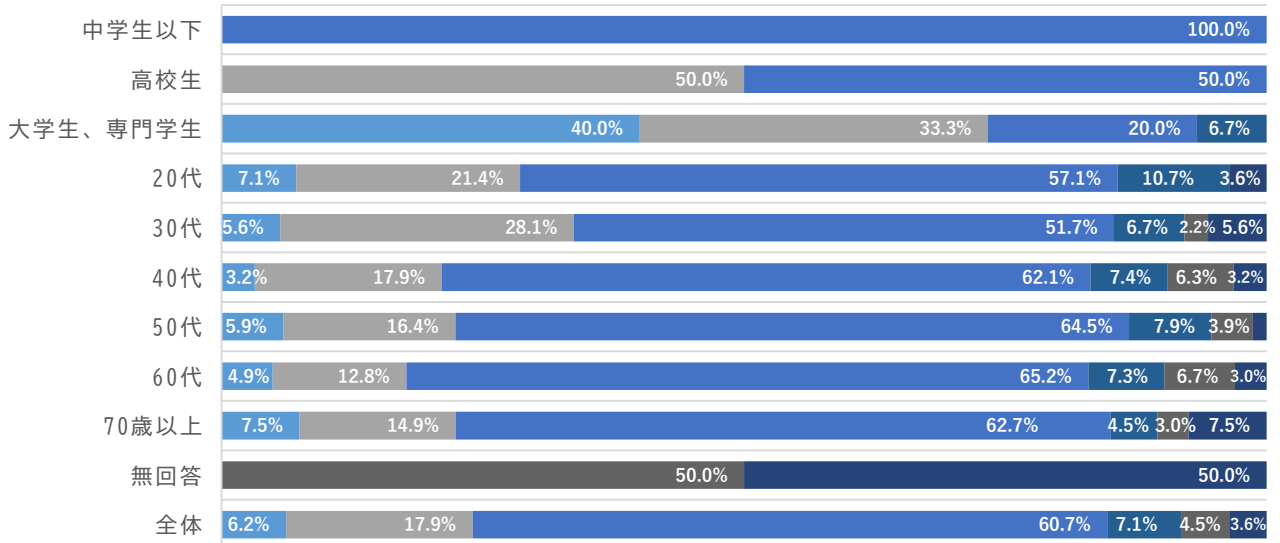


■満足している ■やや満足している ■どちらとも言えない ■やや不満がある ■全く満足していない ■無回答

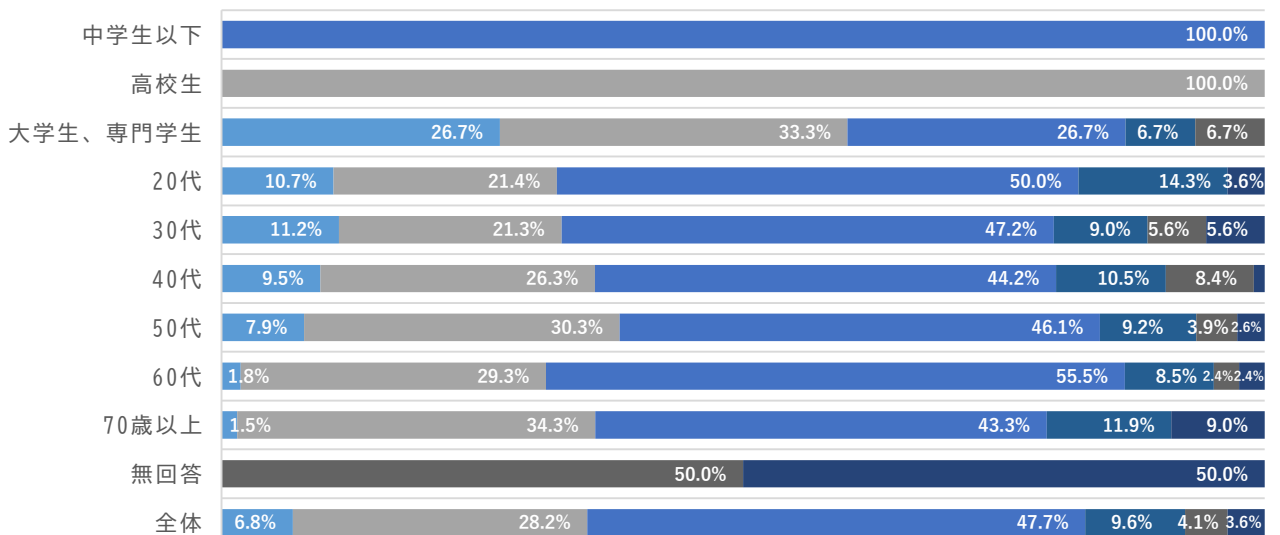
④文化芸術活動の場の提供



⑤文化芸術活動の発表機会の提供

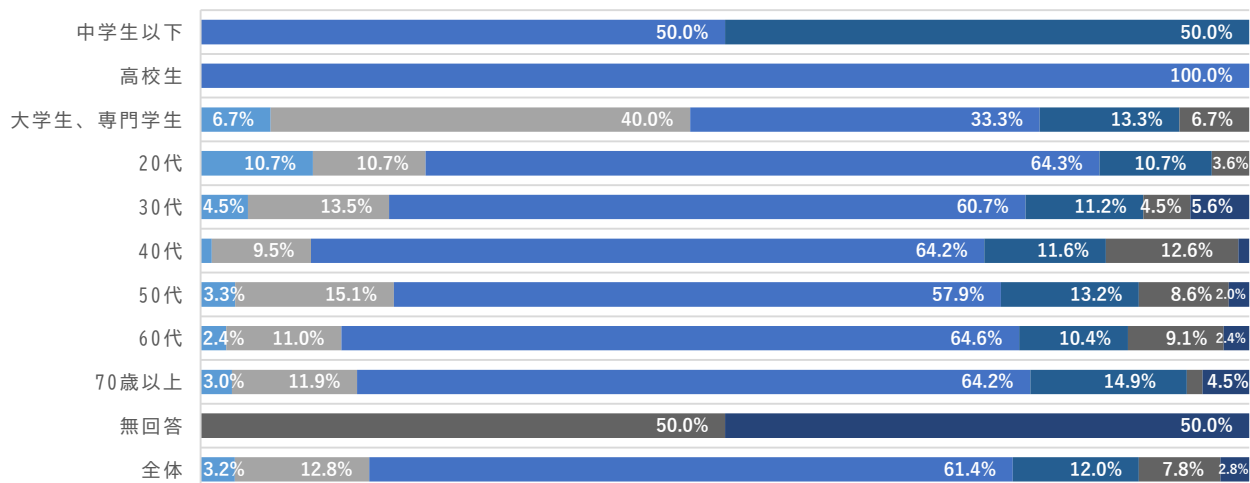


⑥子どもの文化芸術に触れる機会の提供

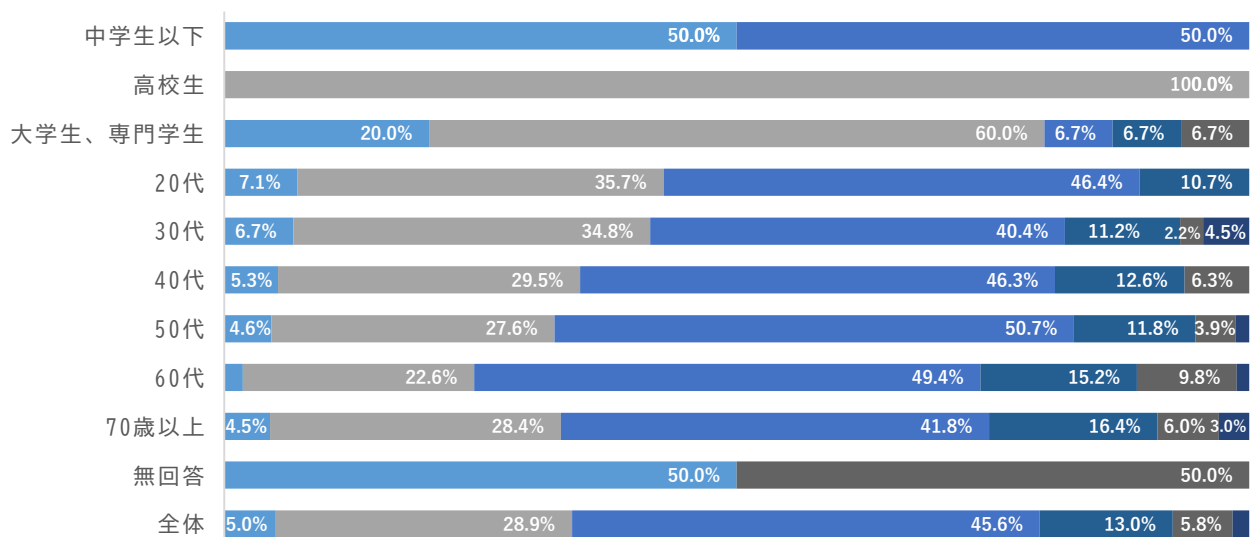


■満足している ■やや満足している ■どちらとも言えない ■やや不満がある ■全く満足していない ■無回答

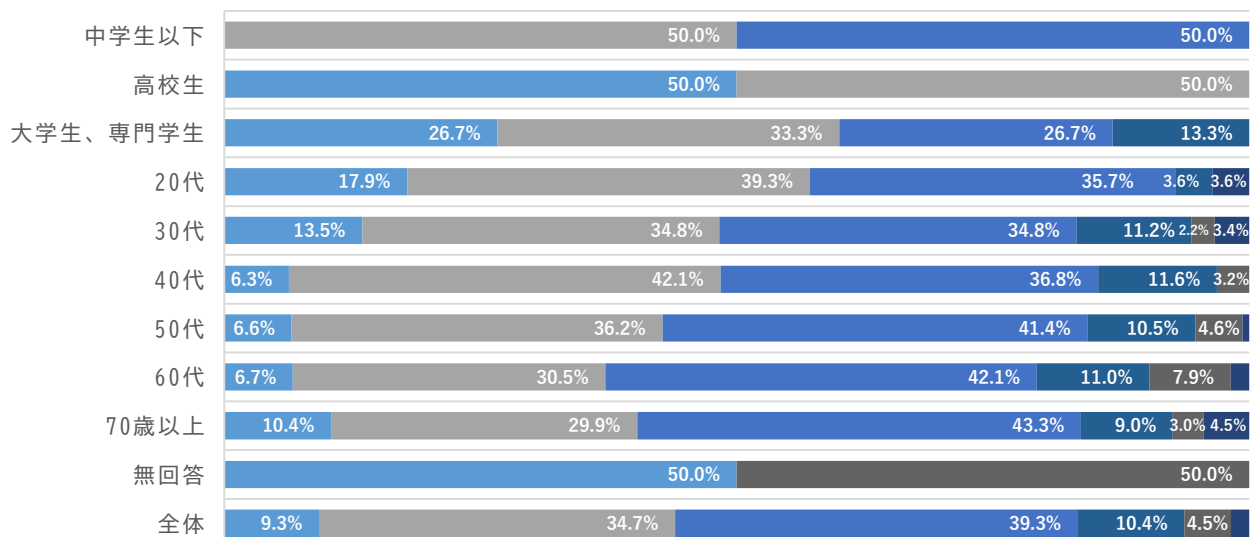
⑦アーティストの発掘・支援



⑧文化財等の観光への活用

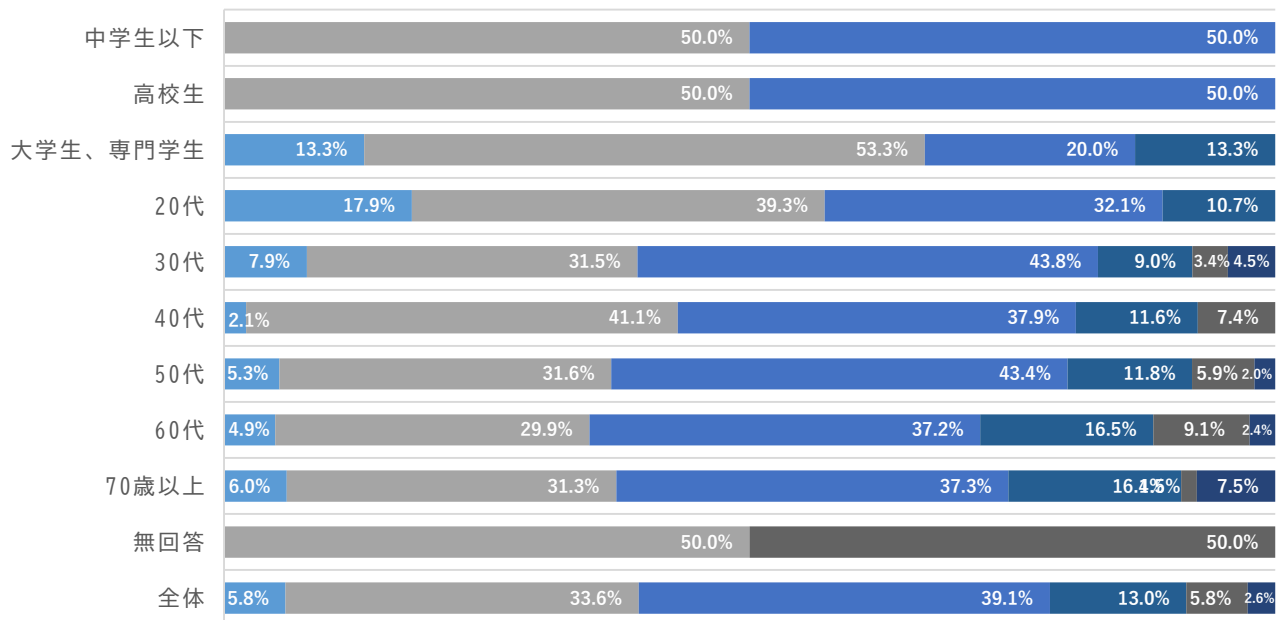


⑨工芸など文化芸術に関連する産業の振興



■満足している ■やや満足している ■どちらとも言えない ■やや不満がある ■全く満足していない ■無回答

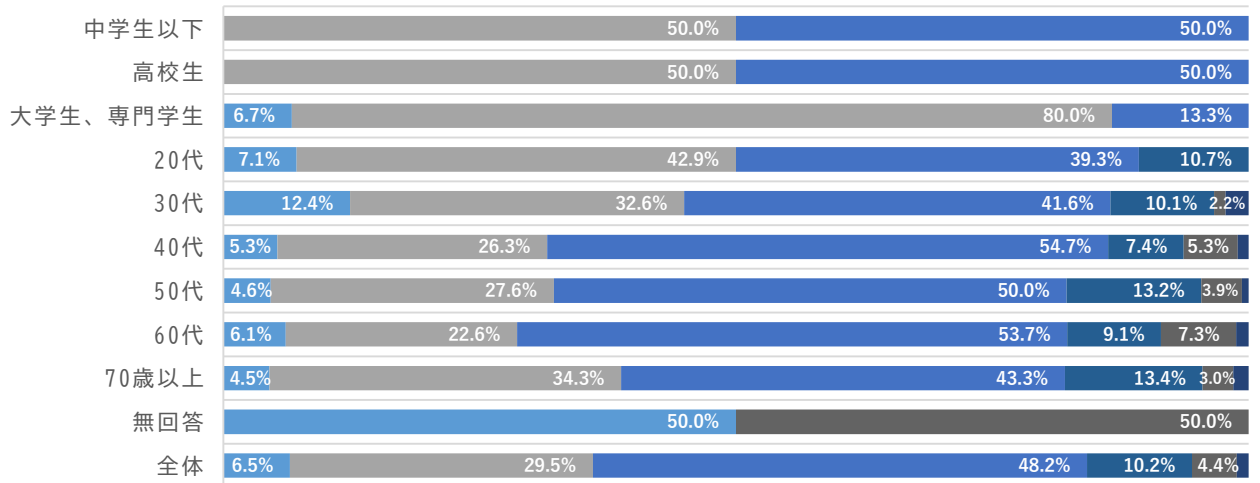
⑩文化芸術に関する取組全体



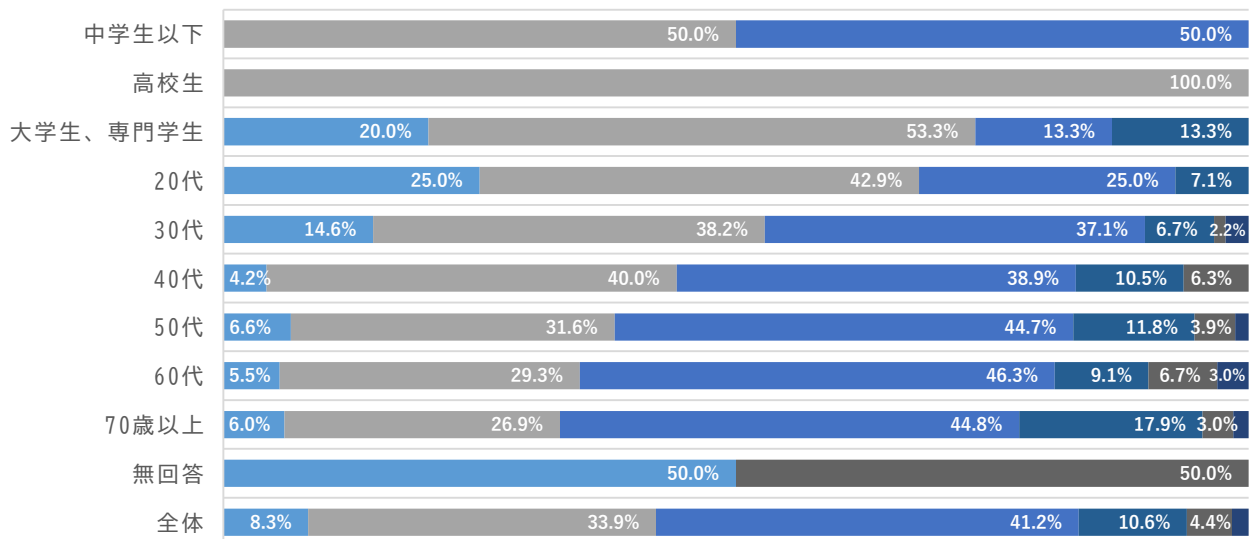
Q22 伝統行事や文化財に関する市の取組みへの満足度（年代別）

■満足している ■やや満足している ■どちらとも言えない ■やや不満がある ■全く満足していない ■無回答

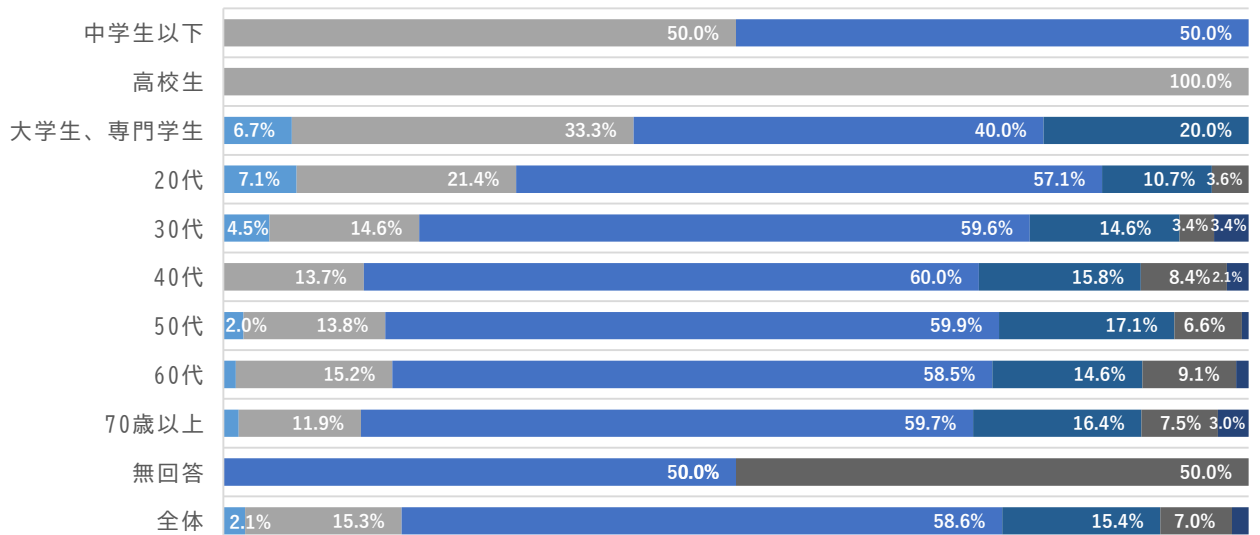
①文化財保護のための取組み



②文化財等に触れる機会の提供



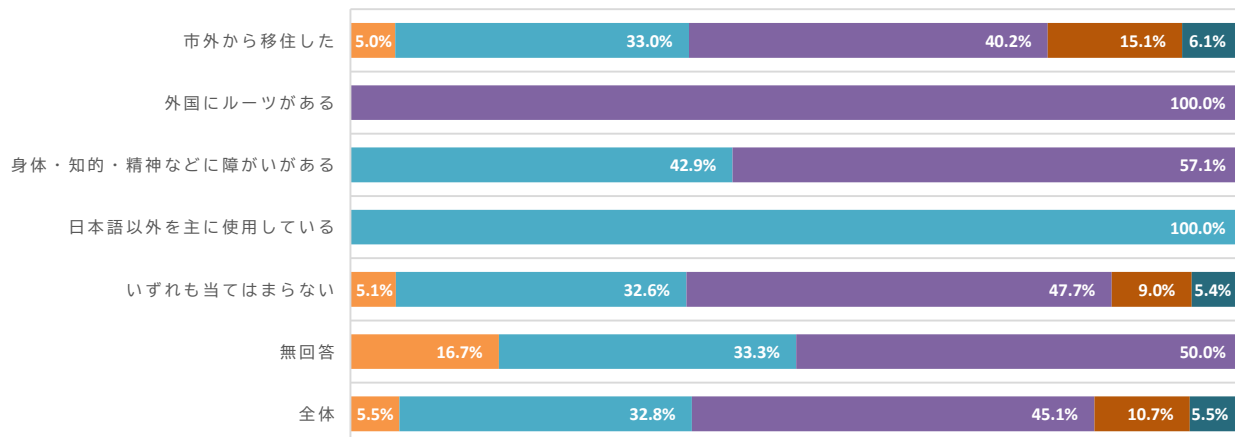
③地域の伝統行事などの後継者育成の促進



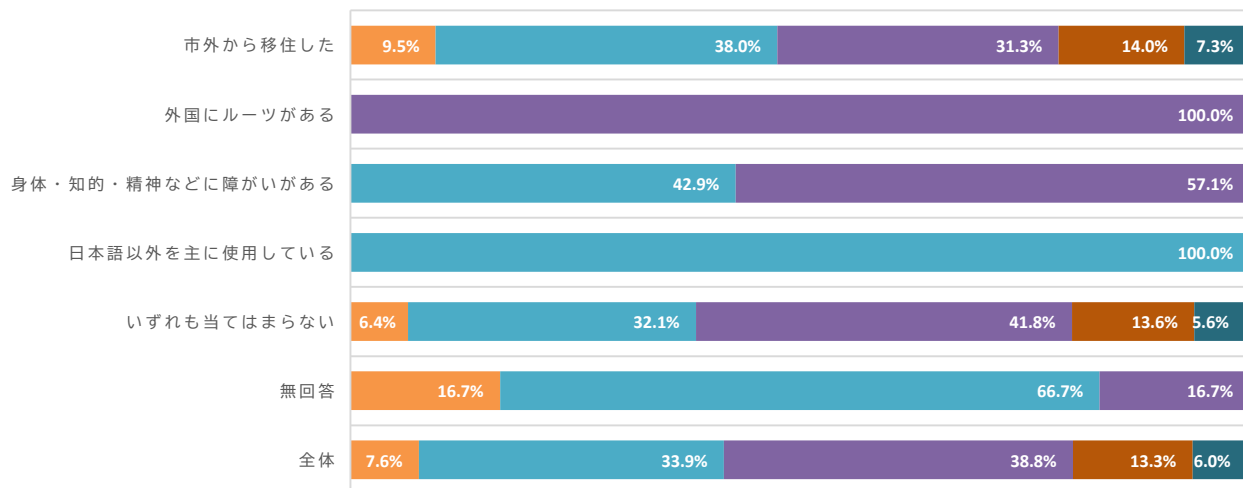
Q17 文化芸術に関する市の取組みへの満足度（移住者等）

■満足している ■やや満足している ■どちらとも言えない ■やや不満がある ■全く満足していない ■無回答

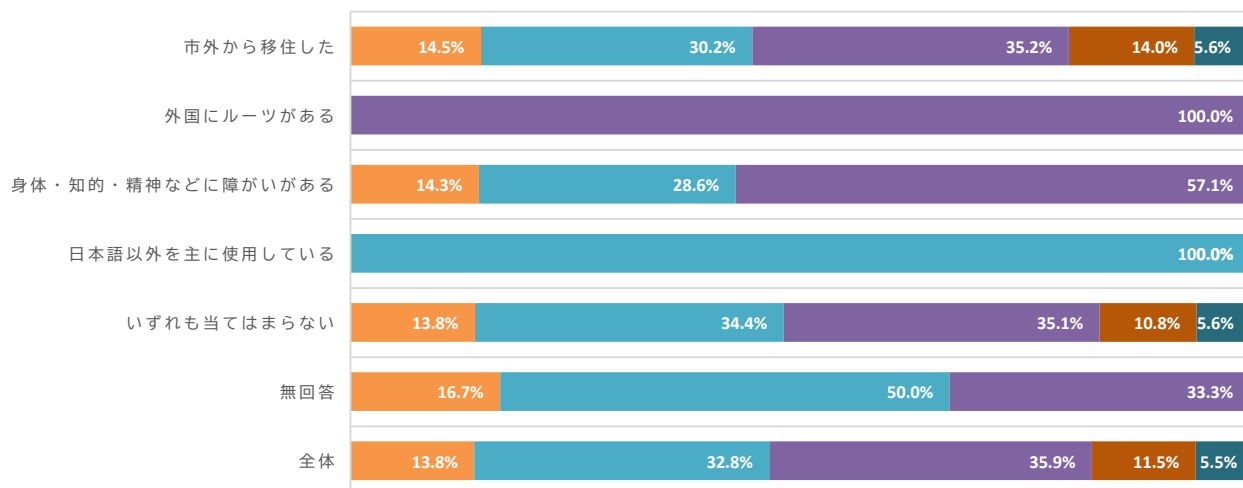
①文化芸術に関する情報発信



②気軽に楽しめる文化芸術鑑賞機会の提供

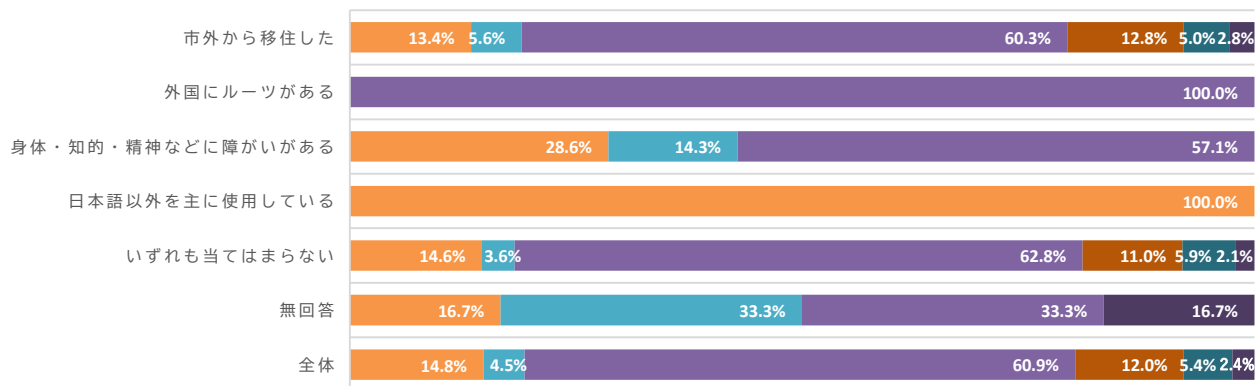


③質の高い文化芸術鑑賞機会の提供

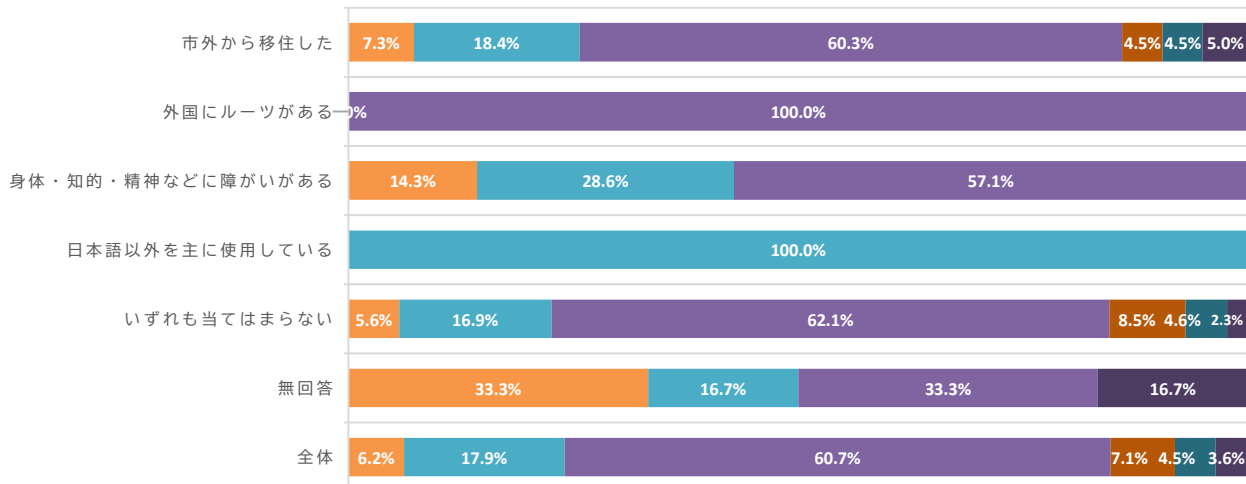


■ やや満足している ■ 満足している ■ どちらとも言えない ■ やや不満がある ■ 全く満足していない ■ 無回答

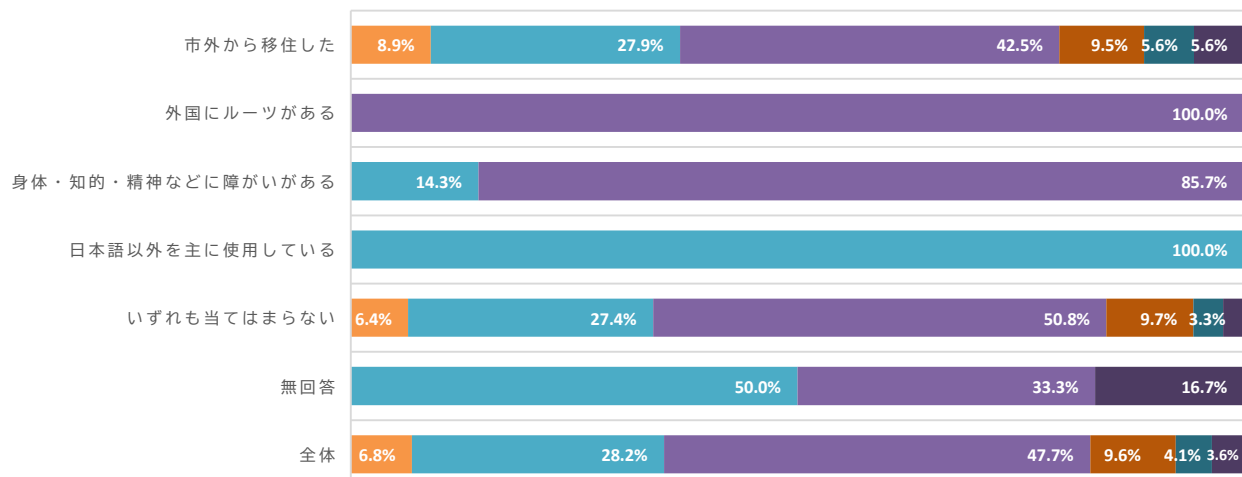
④文化芸術活動の場の提供



⑤文化芸術活動の発表機会の提供

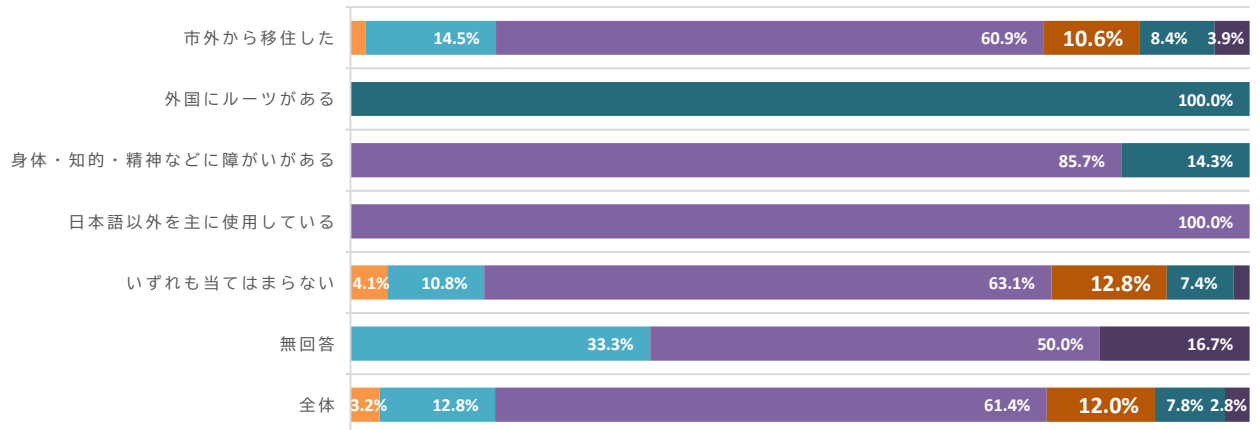


⑥子どもの文化芸術に触れる機会の提供

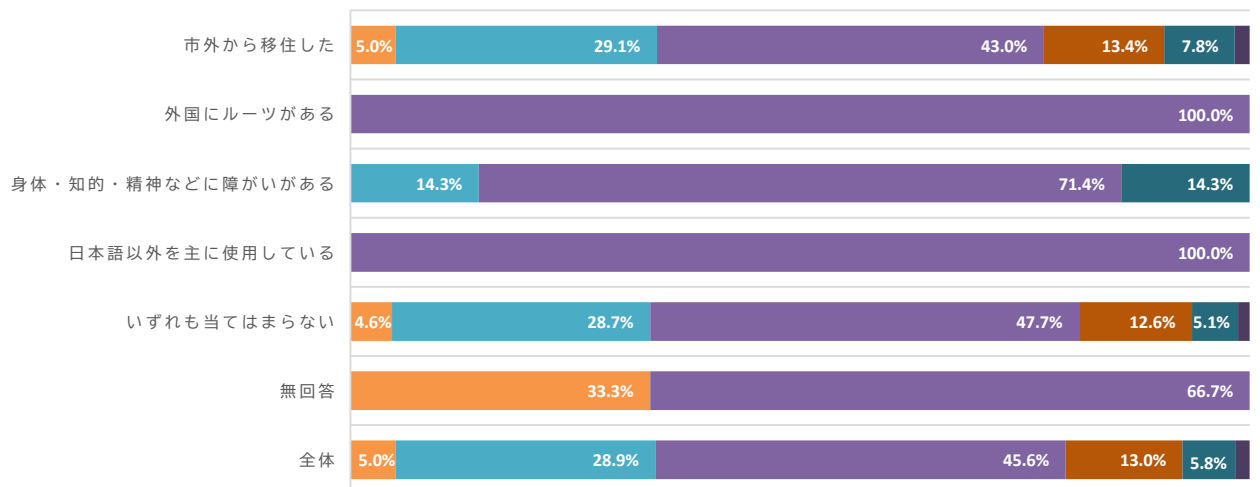


■満足している ■やや満足している ■どちらとも言えない ■やや不満がある ■全く満足していない ■無回答

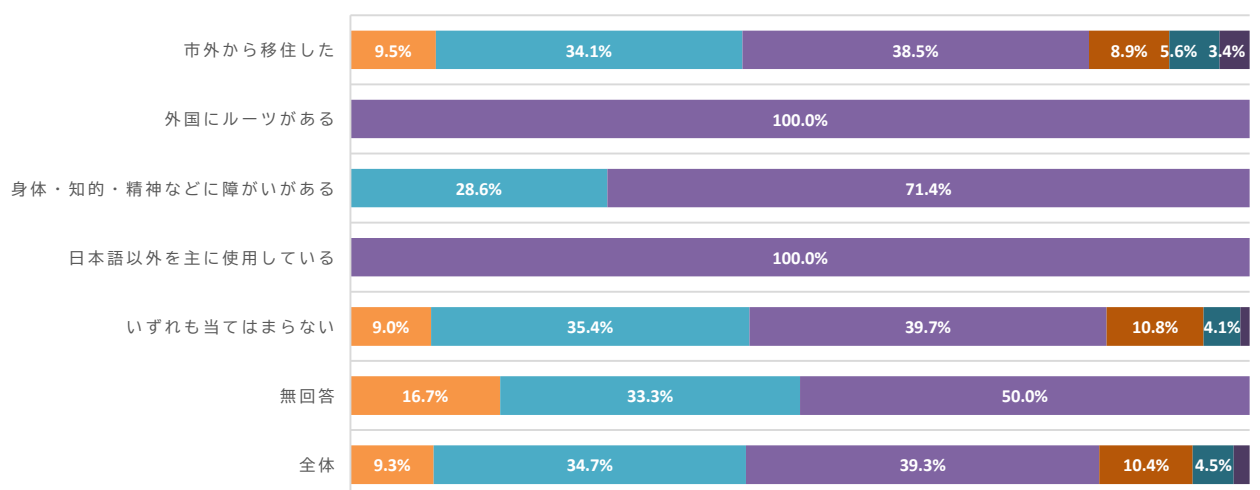
⑦アーティストの発掘・支援



⑧文化財等の観光への活用

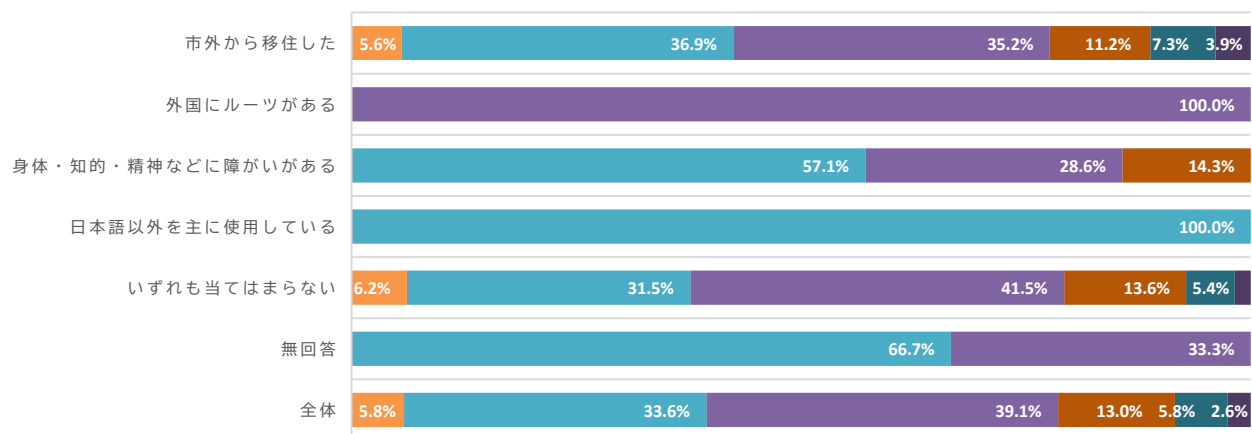


⑨工芸など文化芸術に関連する産業の振興



■満足している ■やや満足している ■どちらとも言えない ■やや不満がある ■全く満足していない ■無回答

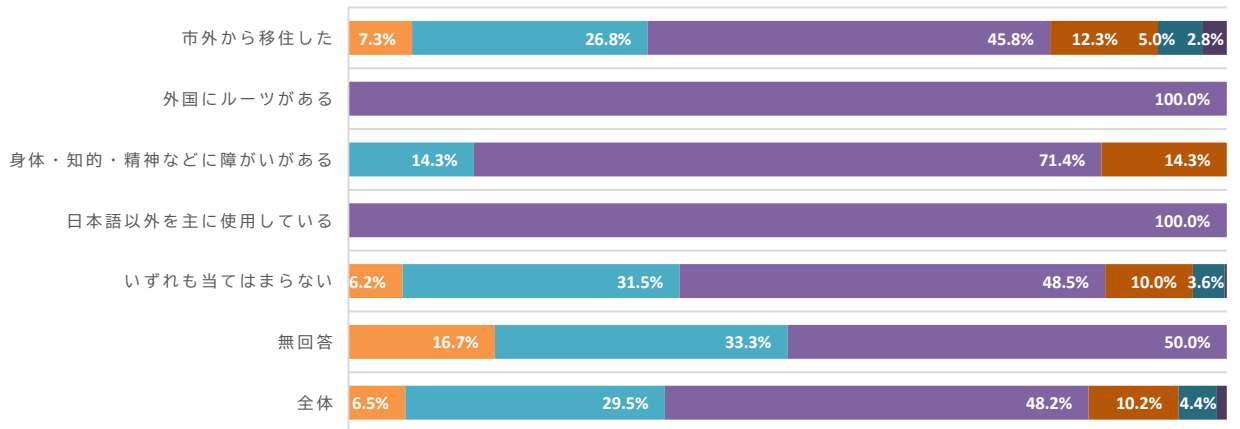
⑩文化芸術に関する取組全体



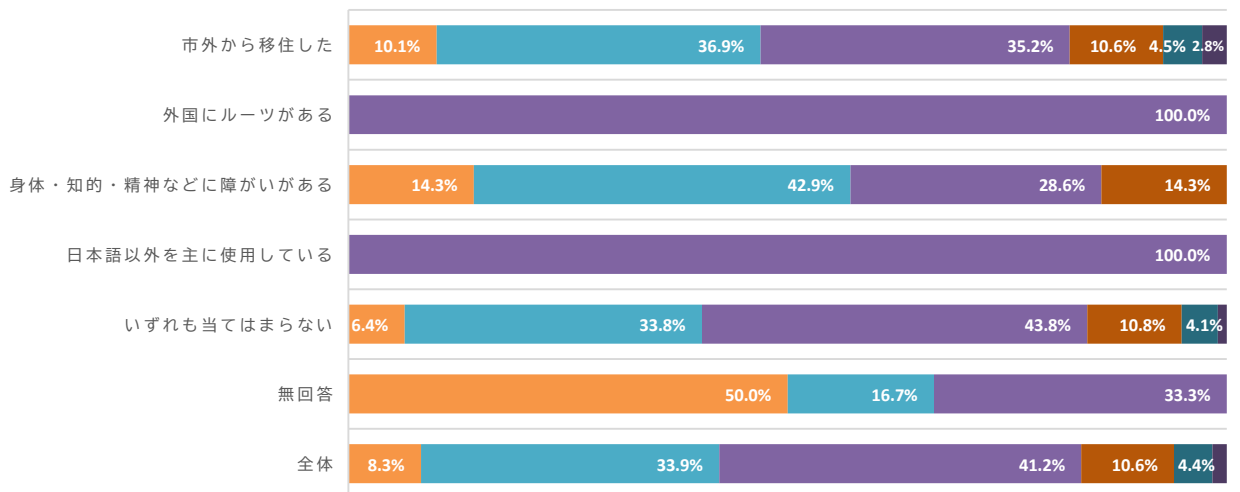
Q22 伝統行事や文化財に関する市の取組みへの満足度（移住者等）

■満足している ■やや満足している ■どちらとも言えない ■やや不満がある ■全く満足していない ■無回答

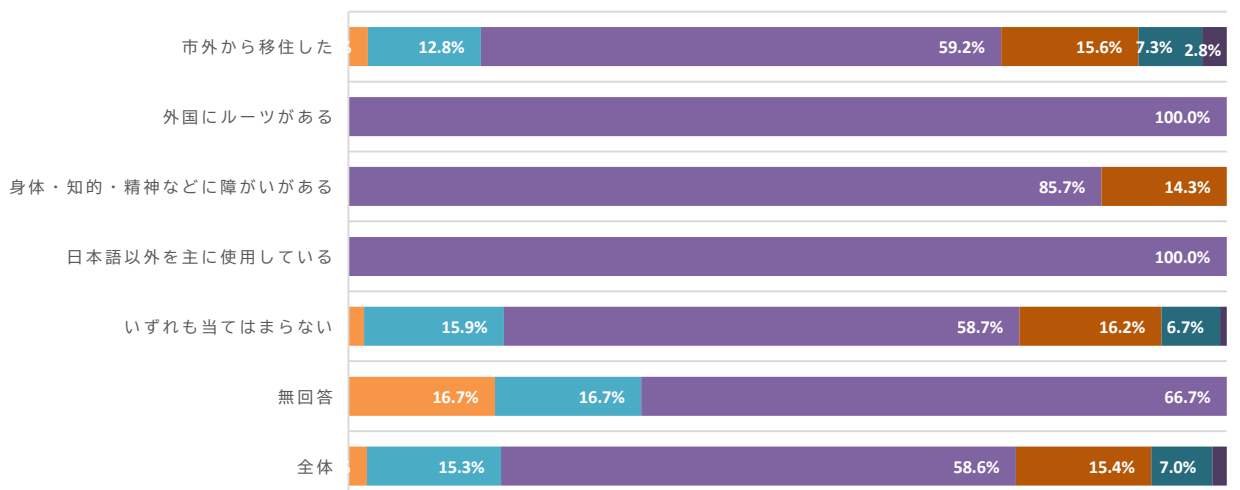
①文化財保護のための取組み



②文化財等に触れる機会の提供



③地域の伝統行事などの後継者育成の促進

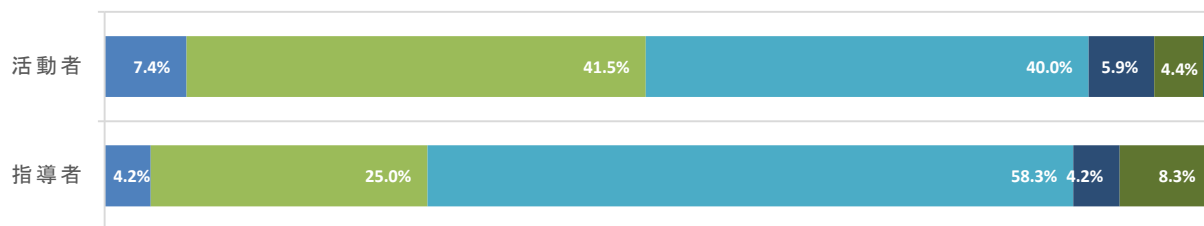


Q17 文化芸術に関する市の取組みへの満足度（活動者・指導者）

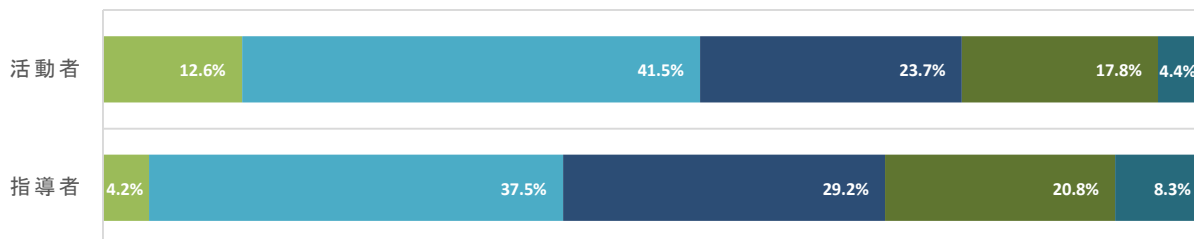
回答者数（全616人）：活動者135人、指導者23人

■満足している ■やや満足している ■どちらとも言えない ■やや不満がある ■全く満足していない ■無回答

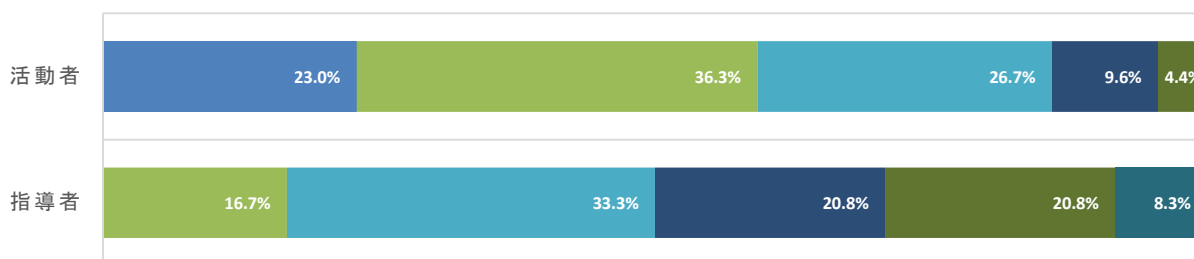
①文化芸術に関する情報発信



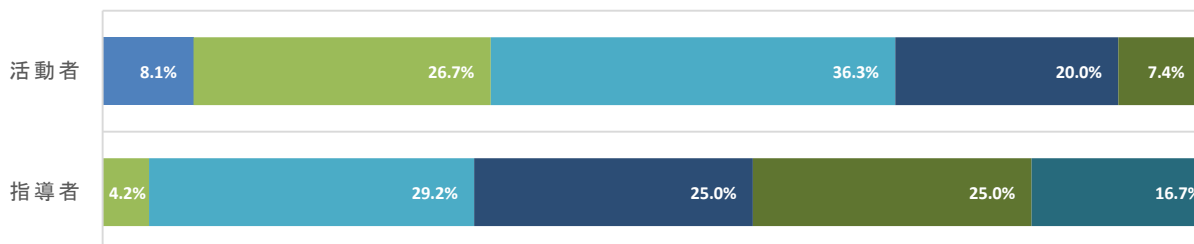
②気軽に楽しめる鑑賞機会の提供



③質の高い鑑賞機会の提供

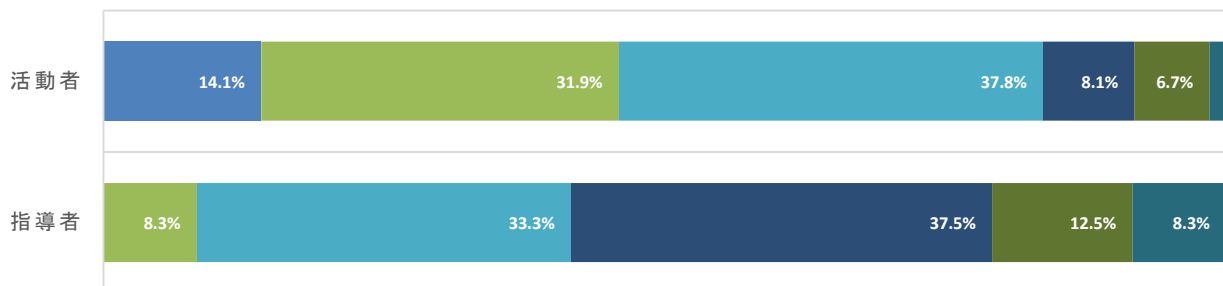


④文化芸術活動の場の提供

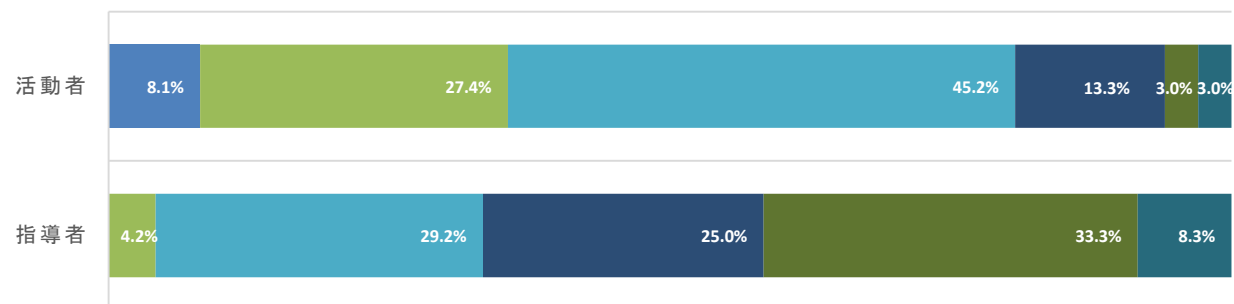


■満足している ■やや満足している ■どちらとも言えない ■やや不満がある ■全く満足していない ■無回答

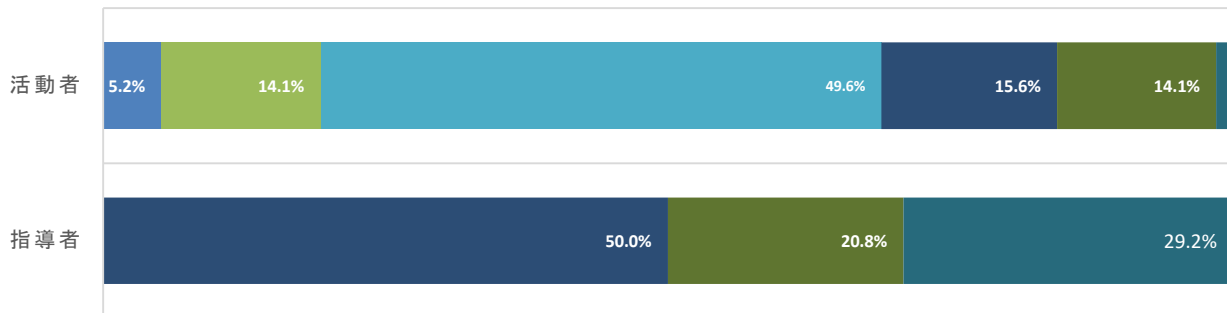
⑤文化芸術活動の発表機会の提供



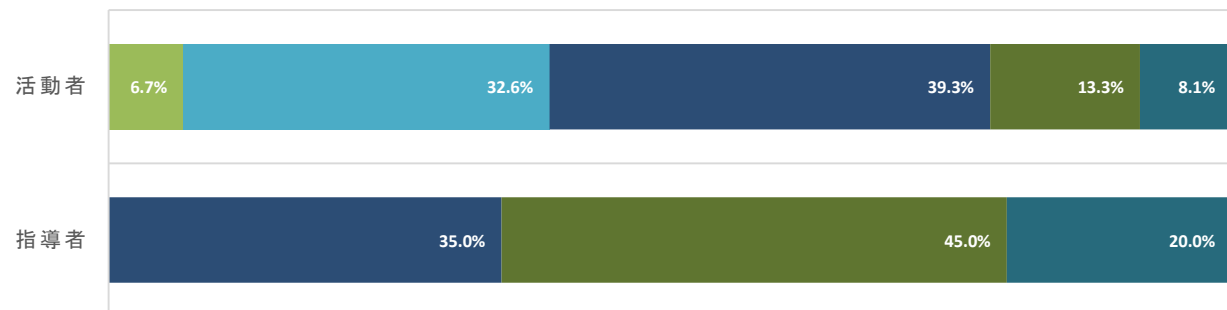
⑥子どもの文化芸術に触れる機会の提供



⑦アーティストの発掘・支援

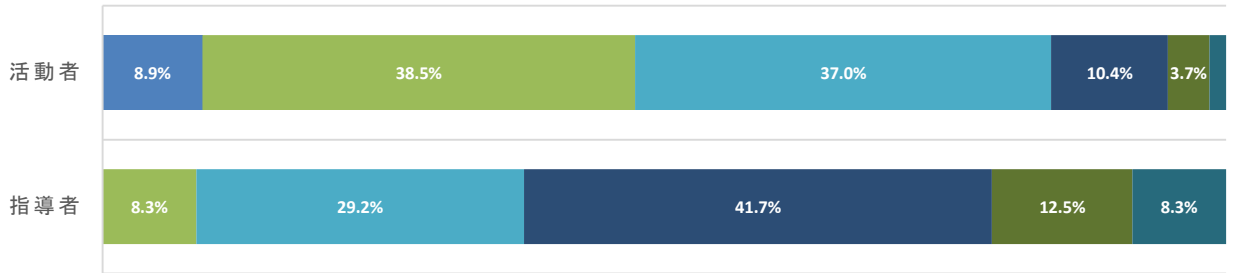


⑧文化財等の観光への活用

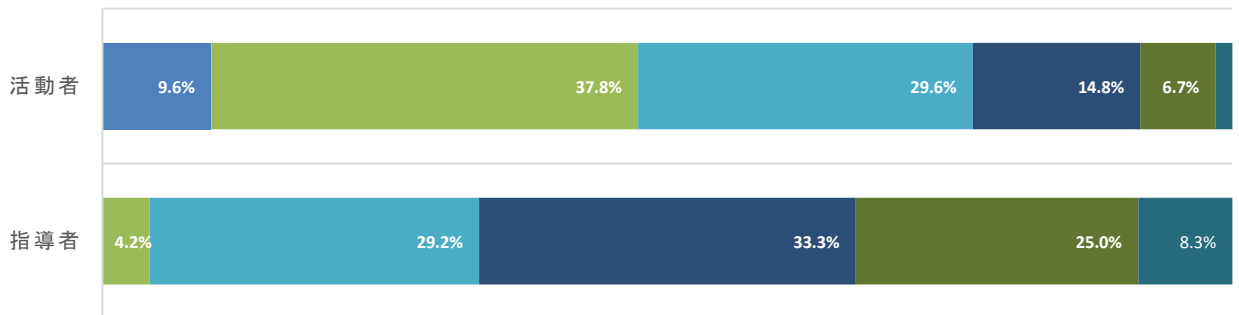


■ 満足している ■ やや満足している ■ どちらとも言えない ■ やや不満がある ■ 全く満足していない ■ 無回答

⑨ 工芸など文化芸術に関連する産業の振興



⑩ 文化芸術に関する取組全体



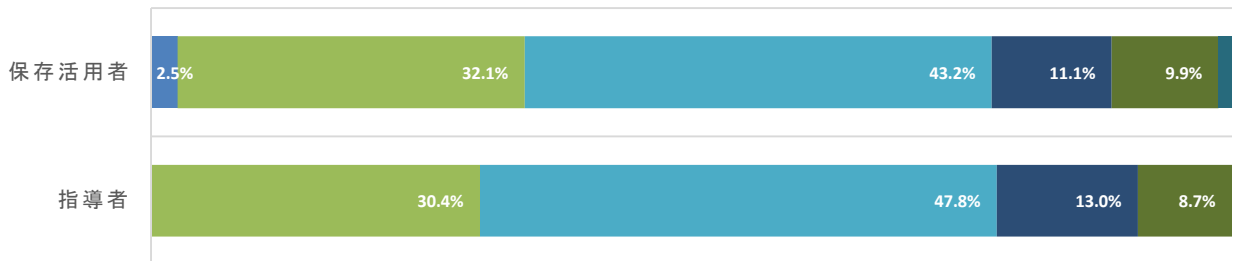
Q22 伝統行事や文化財に関する市の取組みへの満足度（活動者・指導者）

回答者数（全616人）：保存活用者81人、指導者23人

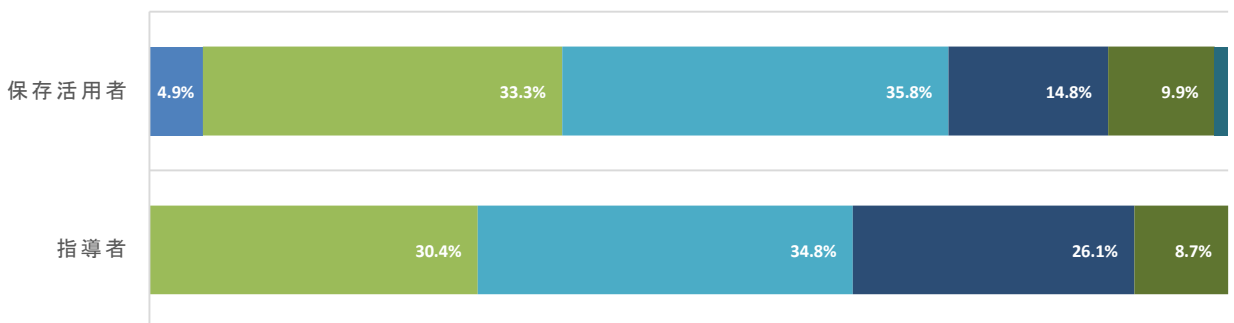
※保存活用者：保存会などで地域行事に携わる人、文化施設で解説や管理に携わる人など

■満足している ■やや満足している ■どちらとも言えない ■やや不満がある ■全く満足していない ■無回答

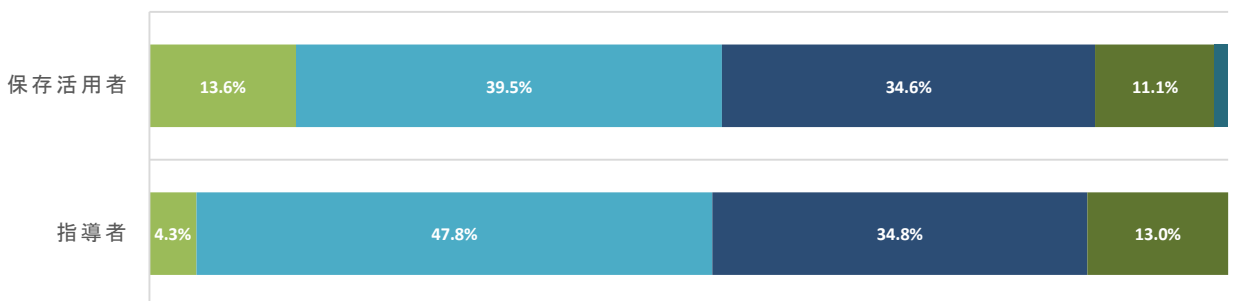
①文化財保護のための取組み



②文化財に触れる機会の提供



③地域の伝統行事などの後継者育成の促進



【「その他」への記述内容】

Q6 松本市の魅力向上のためにはどのような文化芸術活動が必要であると考えますか。

1 学び・触れる機会の提供

- ・短期間のレクチャーや体験教室の開催
- ・各年代向けの定期的な啓発や教育
- ・公民館を窓口と博物館と連携し、共同の学びの促進
- ・観光客も含め、街なかで文化芸術に触れられる機会の創出
- ・アーティストとの対話会、イベント運営・広報手法に関する文化芸術活動を運営する側（市の担当者向け）への研修の実施

2 次世代への継承

- ・高齢化が進む芸術・伝統芸能活動の担い手育成を踏まえた支援
- ・街角や飲食店での楽器を楽しめる参加型コンサート、イラストワークショップ等、気軽に体験できる機会の提供
- ・「楽都・松本」であるなら、学校教育で楽器、演劇、絵画等の体験機会を提供すべき。
- ・若者対象のイベントや発表機会の創出、一流アーティストと若手の共演機会の提供
- ・運営協力やボランティア参加機会の提供

3 継続的なイベント等の開催

- ・セイジ・オザワ松本フェスティバルの継続的实施
- ・単発のイベントではなく、長期的に持続可能な企画の実施

4 分野（ジャンル）の多様化

- ・多様なジャンルの公演招致
- ・自然科学に関する勉強会・講座の新設

5 インフラ整備

- ・駅前エリアの開発、県外からもアクセスしやすい交通整備
- ・施設の維持管理・更新。特に大型フェスやコンサートが開催できる施設の整備

6 その他

- ・観光的な観点も含めたイベント情報の外部への広報活動強化

【自由記述欄に記載された内容】

Q14 アート事業部に望む機能や取組み

1 認知度・組織の方向性に関する要望

- ・初めて知った方が多数。市民や活動団体に対し、広報紙、新聞、Web、SNS等を活用した情報発信を強化
- ・とても良い取組みのため、広く周知
- ・予算規模、事業実績の公開による、信頼と期待の醸成
- ・市として目指す目標、コンセプトの明確化
- ・他の自治体の先行事例を調査分析して、取組みに活用
- ・行政の過度な介入を抑え、市民から自発的に生まれたものを見守るスタンスでの活動

2 機能に関する要望

(1) 情報発信・データベース化

- ・イベント、祭り等の開催情報やアーティスト情報のカレンダー作成、SNS、ポスター等紙媒体による効果的で定期的な発信
- ・「松本はアートの街」であることを広く発信
- ・町会とのつながりが難しい転入者や集合住宅居住者に対し、地域行事への関心を促すための情報発信
- ・伝統文化（三九郎や青山様など）について学べるウェブサイトの構築
- ・活動可能な場所（ライブハウスや貸しスペース等）の一覧をデータベース化
- ・大規模イベント時の駐車場・渋滞情報の提供
- ・デザイン重視でなく、機能性・操作性の高いウェブサイトの構築

(2) 活動者支援

- ・アーティスト、若手クリエイター、高齢者、障がい者向けプログラム・発表機会の提供、会場の提供
- ・アーティストが持続的に活動できる経済的基盤整備
- ・活動者同士が交流・相談できる拠点設置
- ・幅広い分野に対して均等な支援
- ・地元出身の活動者（松本ゆかりの方）へ、街なかでの音楽・パフォーマンス参加を促す支援や活動・発表空間の提供
- ・日常的に活動しやすいよう会場の無償（又は安価での）提供や補助金交付制度の整備
- ・大規模イベントに限らず、日常的な演奏、展示会等、市民が気軽に参加できる機会を支援

(3) 子どもたちへの活動支援及び学ぶ機会の提供

- ・小中学校の社会科で文化財・工芸品を学習する単位を使った校外学習（文化財見学・工芸体験等）で、地元の工芸家と子どもたちが関わる企画を支援
- ・中学部活動の地域移行に対する支援（発表機会、楽器管理及び美術部等文化部の活動）
- ・地域移行した活動に対する指導者への資金・設備補助の拡充

(4) 横断的連携

- ・アマチュア・プロに関わらず、様々な文化芸術団体と行政・関係部署をつなぐ役割
- ・参加、出店希望者や団体とイベントを結びつけるマッチングサービスの整備
- ・地域づくりセンター、公民館等との協働体制の構築
- ・大規模イベントの実施による連携強化及び団体間の交流

3 事業・アイデア提案

(1) 「文化芸術があふれる街」

- ・週末ごとに市内のどこかで音楽、演劇等のパフォーマンスが行われ、観光客も楽しめる環境整備
- ・街なかにアートストリート、アートパークあがた、ふらっとアート、街角アート、JR 連絡通路アート、ホコ天アート等の常設アート展示
- ・旧博物館跡地の多目的利用（薪能、歌舞伎、実物大ガンダム等大型展示の誘致）
- ・日常的に楽しめる、触れられる大道芸のようなイベントの企画

(2) 多様なジャンルのイベント開催

ア 音楽

- ・クラシック以外のポップス、ロック、ジャズ等の音楽イベント開催（例：金沢市ジャズストリート、仙台市定禅寺ジャズフェスティバル）
- ・松本平第九を歌う会の再開（1999年から2000年にかけて組織し、4年継続）
- ・タレント・歌手などポップミュージックの招致、ロック・アニソンフェス等のイベント企画
- ・街なかライブ演奏（ウィーンのような街の中に生演奏のクラシックが流れる光景）や、定期的な屋外クラシックコンサートの実施により音楽を日常に溶け込ませる。
- ・盆ジョビの開催（松本市在住のDJ、松本市の太鼓クラブの演奏、松本市で作られたギターの松本市在住のギタリストによる演奏等）
- ・若手もベテランも参加できるような世代横断型フェスの開催

イ 街なかアート

- ・市内にオブジェ等を置く形式の芸術展（例：山崎監督のYキャットオブジェの設置）

ウ 絵画、アニメ

- ・アニメ制作会社の誘致、聖地巡礼型イベント
- ・松本での絵画公募

(3) その他

- ・著名作家と松本の連携促進
- ・外国語研修や観光客向け接客事業によるボランティア育成

Q23 全体を通しての意見や要望

1 会場、インフラ整備

(1) 施設・アクセス問題

- ・市民芸術館、波田文化センターに無料で広大な駐車場増設。ホール併設の臨時駐車場を設置し、来場者のアクセス環境を向上
- ・駐車場利用状況の発信（行きたくても駐車場が混んでいて行けないこともある。）
- ・立地が良く駐車場付きの大規模ホール・複合施設を新設
- ・市民芸術館等へのカフェ、食堂併設
- ・あがたの森文化会館への冷暖房設備の設置
- ・老朽化施設の利活用支援

(2) 施設開館時間・利用形態

- ・平日昼間・週末以外の開催時間帯拡大、月1回のオールナイトイベント等利用者の多様なライフスタイルに合わせた時間帯の拡充
- ・市民割引制度（入場料・施設利用料の優遇）を導入し、地域住民の参加ハードルを低減

(3) 郊外・地域分散

- ・公民館・小規模ホールでのイベント開催推進と交通アクセスの改善
- ・波田文化センターの積極的活用
- ・公共交通機関との連携によるイベント来場者の誘導、情報提供
- ・波田駅・村井駅・島内駅など自家用車・電車どちらも利用できる松本市郊外での開催
- ・えきしろだけでなく郊外の文化施設の充実

(4) 環境整備

- ・街灯、休憩場所の増設等、文化芸術の魅力ある発信地として市全体を整備
- ・高層コンクリート建築の抑制
- ・市内の芸術団体への練習室・備品倉庫の無償利用許可

2 内容・ジャンルの多様化

(1) 舞台芸術、美術

- ・市民芸術館のミュージカル、2.5次元、歌舞伎等の公演回数拡大と、チケット抽選制度の透明化、先行予約枠の市民割引を実施

(2) ポピュラー・エンタメ

- ・美術館・博物館にアニメ・ゲーム関連常設展示（例：荒木飛呂彦原画展）

(3) 古典芸能

- ・落語、講談、能、歌舞伎等の公演、古典芸能の体験型ワークショップ
- ・「平成中村座」の復活、信州まつもと大歌舞伎のボランティア募集のような活動の情報発信と支援

(4) 演劇

- ・アマチュア劇団への公演枠提供、演劇と観光を結びつけた高校専門学科の創設
- ・「高尚」志向が強く大衆向けの企画が不足。地域住民が親しみやすいテーマの演劇、展覧会の企画

(5) その他イベント企画など

- ・松本市の寺社巡りツアー、気軽に文化や歴史に触れられる郊外の文化財を活用した企画
- ・自分の住んでいる地区の歴史、変遷などが学べる企画
- ・多くの人々が気軽に無料鑑賞できる機会の創出
- ・「マインドトレイル」型の山岳アートフェス（乗鞍高原等）を企画し、自然とアートを融合させた地域独自のイベント
- ・色々な層向けの企画実施及び美術館や博物館へ定期的に行きたくなるような多彩な企画
- ・各分野への総花的な取組みでなく、重点分野を年度ごとに決めるなどメリハリある企画

3 伝統行事・文化財の継承、保存活用

(1) SNS、動画による情報発信

- ・各地区の祭り・行事を短尺動画やライブ配信で発信。SNS専用チャンネルの運用

(2) 伝統行事の支援と健全化

- ・地域の伝統行事への支援

- ・参加促進はよいが、強制的な参加など負の側面が生じないように、個人の選択が尊重される流れ。
- ・コロナ禍で縮小・中止した祭りの復活や文化の継承のため後継者育成、ボランティア支援制度の創設
- ・市として伝統行事を存続させるなら、青山様・ぼんぼんなど行事の意義の理解へのサポートが必要
- ・保存か、衰退も良いのか、地域に任せず市として方針を打ち出すべき。
- ・市職員自らが、地域のイベント、行事等に積極的に参加
- ・地域の伝統行事は時代に合っていないものもある。受け継いでいく上でも子どもの安全（交通や気候条件など）を第一に考え、現状に合わせた見直しが必要
- ・小中学校での伝統行事参加を強化（地域からの依頼は困難）
- ・お祭りは宗教行事でもあり、市が伝統行事として参加を推進させるのは問題がある。

(3) 文化財の保存・公開

- ・市内の文化財の総合データベース化及び GIS マップや周遊コースの作成
- ・目立たない文化財の防犯・保存対策と一般公開
- ・戦争遺産（満州移住・シベリア抑留等）の展示・解説による歴史教育
- ・重要文化財の管理の個人負担について国へ改善要求
- ・昭和期建造物を「建築文化遺産」として保存対象に追加

4 アーティスト、活動者への支援体制

- ・民芸家具や伝統工芸継承者、オマージュ作家等を対象とした表彰制度の新設と、受賞後の講座やワークショップ開催支援

5 次世代支援

- ・0歳児でも安心して参加できる企画の提供（同時に託児やベビーカー可の案内を表示）や子どもが遊べる屋内施設の設置
- ・子どものアートに関する育成。自宅では規模的に難しい絵具、粘土等を活用した体験教室

6 情報発信、広報強化

- ・外国人観光客向けに多言語での案内板・デジタルサイネージを設置

7 観光・ブランディング戦略

(1) 撮影誘致の体制整備

- ・映画・ドラマ・アニメ制作会社への情報提供と柔軟な対応

(2) 松本城以外の観光資源活用

- ・お城周辺だけでなく、広く旧東筑摩・南安曇郡域の文化財・民芸資源の活用
- ・観光用バス路線の設定やお堀の舟での観光

(3) ポップカルチャーの活用

- ・コラボメニュー、スタンプラリー等によるポップカルチャーと観光との融合したオタク・ファン層向けイベント
- ・知名度が高い題材や著名人の活用（松重豊氏に、市内の飲食店を使い孤独のグルメをやってほしい。）

(4) 都市ブランディング

- ・駅前・駅通路・駅前広場を「文化芸術の入り口」とするデザイン・設計

(5) 文化芸術と観光の統合

- ・文化芸術の価値を観光資源として位置付け、持続的に活用する体制整備
- ・文化行政と観光行政を結び付けるのはそれぞれの目的が異なるため無益。松本らしきをもっと大事に。

8 予算、財務評価

(1) 費用対効果

- ・無駄な支出の抑制と、文化芸術・文化財への予算増額の検討

(2) 割引・入場券配布

- ・市民対象の入場割引券・招待券の発行による入場料の差別化検討
- ・「博物館や美術館の入場料」市内と市外の人で差別化

(3) 文化財保全予算

- ・小規模史跡への補助金拡充

(4) 紙媒体の保存

- ・視覚に訴えるポスター、チラシ、図録等の紙媒体の予算確保

(5) 資金・人員支援の可視化

- ・金銭的支援（助成金・補助金）と人員支援（公的スタッフ・ボランティア）の一覧化と、その効果の公表

9 市政全般に対するご意見

(1) 施策の一貫性とコーディネート

- ・大規模・小規模イベントの連携強化や全体的な調全体制の構築
- ・市内の博物館、歴史館、美術館、史跡等をトータルで魅力発信

(2) 地域差の是正

- ・中心部だけでなく郊外でもイベント開催とアクセスしやすい情報の提供

(3) 学芸員・研究職の重視

- ・学芸員の専門性を生かした研究業務に専念できる環境整備

(4) 大学・芸術学部の創設

- ・芸術大学又は芸術学部の設置

(5) 市民参加型意思決定

- ・多様な市民の声を踏まえた意思決定プロセスの構築。特に学生、若年層の意見の取り入れ。

(6) 楽都・松本の実現

- ・街なかでの音楽、芸術体験機会の拡充、気軽に立ち寄れるコンサートや市民講座の充実
- ・OMFも首都圏近郊からの客層が多く、自分の周囲でも聴いたことがないという方が大多数。文化芸術を地域に根づかせる施策が必要

10 その他

(1) アンケート設計の改善

- ・質問の明確化と統計的有意性の確保
- ・各部門で実際に活動をしている市民に、現状に関するアンケートを実施

(2) ボランティア活動への有償化・適正な報酬制度の導入

- ・ボランティア活動に対する適正報酬制度の導入及び強制的な参加要請の排除